

(資料 1)

四国森林管理局管内の木材価格等の推移 (最近の動向)

令和 8 年 9 月 1 7 日
四 国 森 林 管 理 局

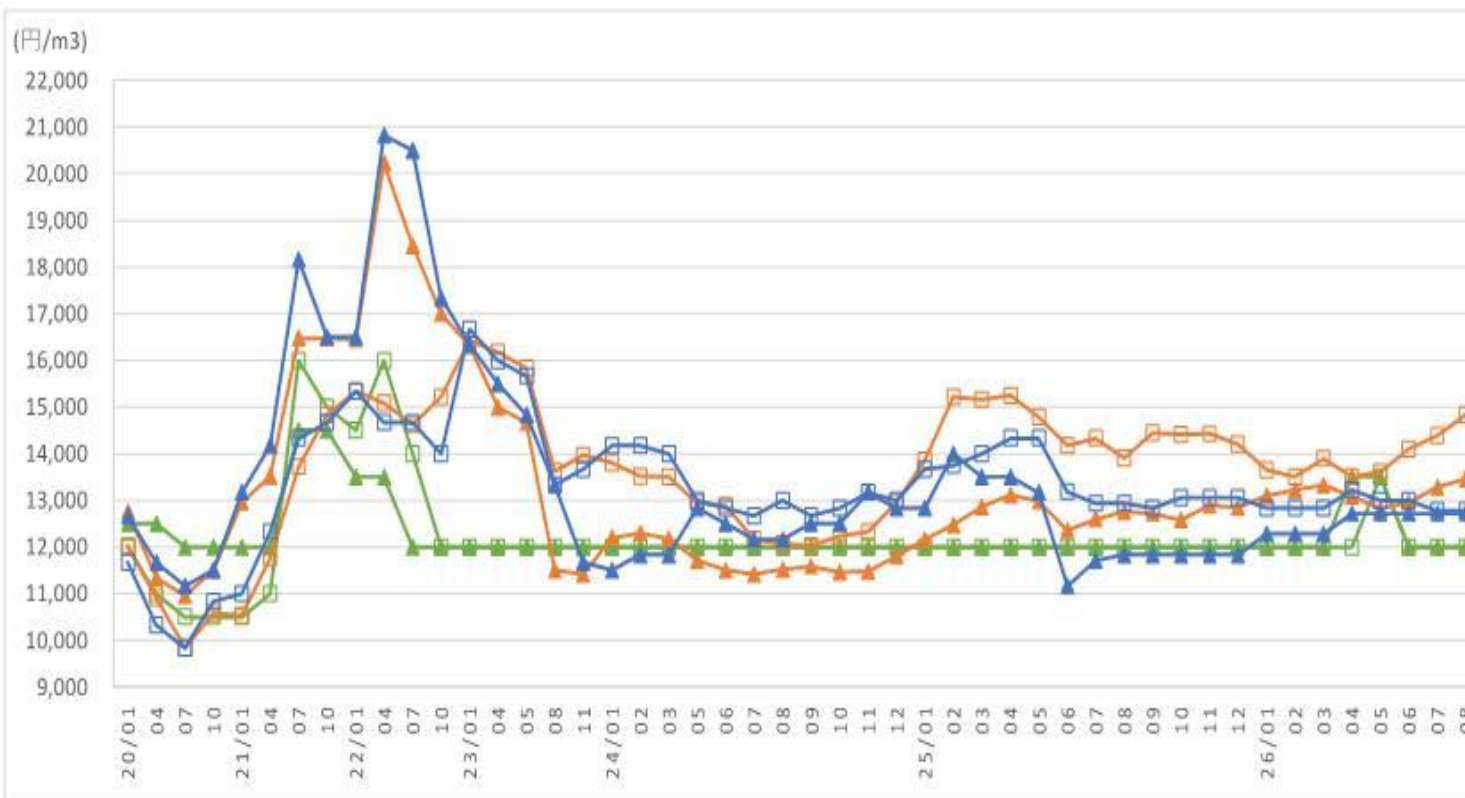
目 次

I	管内における原木市場・共販所の状況	
1	原木市場における丸太価格の推移・・・・・・・・・・	1
2	丸太取扱量の推移・・・・・・・・・・	5
II	管内における製材等の状況	
1	製材用素材の入荷量及び在庫量の推移・・・・・・・・	7
2	製材品の出荷量及び在庫量の推移・・・・・・・・	8
3	製材品価格の推移・・・・・・・・・・	9
III	全国の丸太価格の動向・・・・・・・・・・	10
IV	住宅着工戸数	
1	四国における木造住宅着工戸数の推移・・・・・・・・	12
2	全国の住宅着工戸数の推移・・・・・・・・・・	14

I 管内における原木市場・共販所の状況

1-(1) 原木市場における丸太価格の推移（スギ、径14cm～16cm 長3 m材・4 m材）

- 徳島県は3 m、4 mとも6月に値を下げて横ばい。
- 愛媛県は3 m、4 mとも6月から上昇傾向。
- 高知県は3 m、4 mともほぼ横ばい。
- 令和8年8月のスギ丸太価格は、徳島県は前年同月比3 m、4 mとも100%、愛媛県は3 m105 %、4 mは107%、高知県は3 mは108%、4 mは99%。



○ 8月のスギ丸太価格

(円/m³)

県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
徳島県	▲ 3 m材	12,000	12,000	100%
	□ 4 m材	12,000	12,000	100%
愛媛県	▲ 3 m材	13,453	12,762	105%
	□ 4 m材	14,833	13,903	107%
高知県	▲ 3 m材	12,722	11,833	108%
	□ 4 m材	12,778	12,938	99%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(2)原木市場における丸太価格の推移（スギ、径18cm～22cm 長3 m材・4 m材）

- 徳島県は3 mが6月に値を下げて横ばい。4 mは横ばい。
- 愛媛県、高知県は3 m、4 mともほぼ横ばい。
- 令和8年8月のスギ丸太価格は、徳島県は前年同月比3 mは92%、4 mは101%、愛媛県は3 mは97%、4 mは96%、高知県は3 mは100%、4 mは106%。



○ 8月のスギ丸太価格

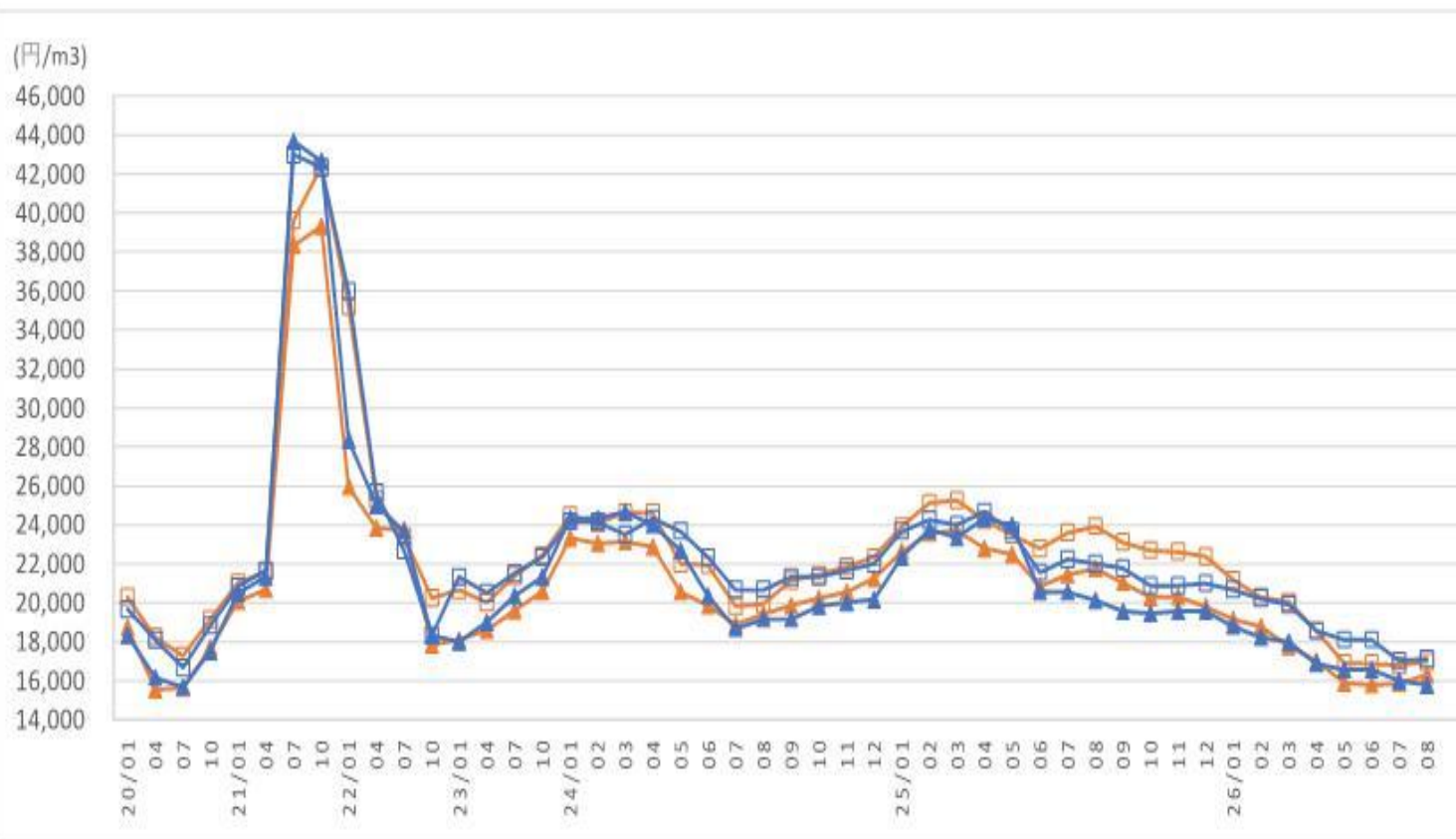
		(円/m³)		
県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
徳島県	▲ 3 m材	12,000	13,000	92%
	□ 4 m材	18,200	18,000	101%
愛媛県	▲ 3 m材	14,787	15,167	97%
	□ 4 m材	14,833	15,411	96%
高知県	▲ 3 m材	15,167	15,167	100%
	□ 4 m材	15,167	14,333	106%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(3)原木市場における丸太価格の推移（ヒノキ、径14cm～16cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県とも下落傾向にあったが、6月以降は愛媛県はほぼ横ばい。高知県はやや下落。
- 令和8年8月のヒノキ丸太価格は、愛媛県は前年同月比3 mは75%、4 mは71%、高知県は3 m、4 mともに78%。



○ 8月のヒノキ丸太価格

(円/m³)

県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
愛媛県	▲ 3 m材	16,298	21,767	75%
	□ 4 m材	16,953	23,924	71%
高知県	▲ 3 m材	15,778	20,111	78%
	□ 4 m材	17,111	22,000	78%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(4)原木市場における丸太価格の推移（ヒノキ、径18cm～22cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県とも下落傾向で推移していたが、6月以降はやや下落または横ばい。
- 令和8年8月のヒノキ丸太価格は、愛媛県は前年同月比3 mは80%、4 mは85%、高知県は3 m77%、4 mは85%。



○ 8月のヒノキ丸太価格

		(円/m³)		
県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
愛媛県	▲ 3 m材	17,467	21,733	80%
	□ 4 m材	18,167	21,333	85%
高知県	▲ 3 m材	17,167	22,333	77%
	□ 4 m材	19,167	22,667	85%

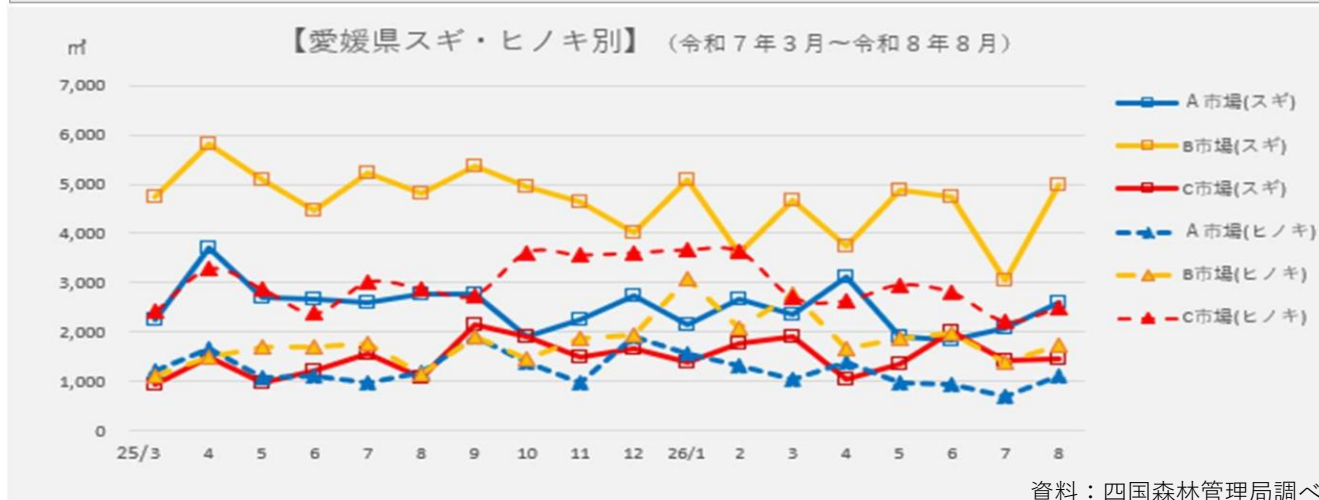
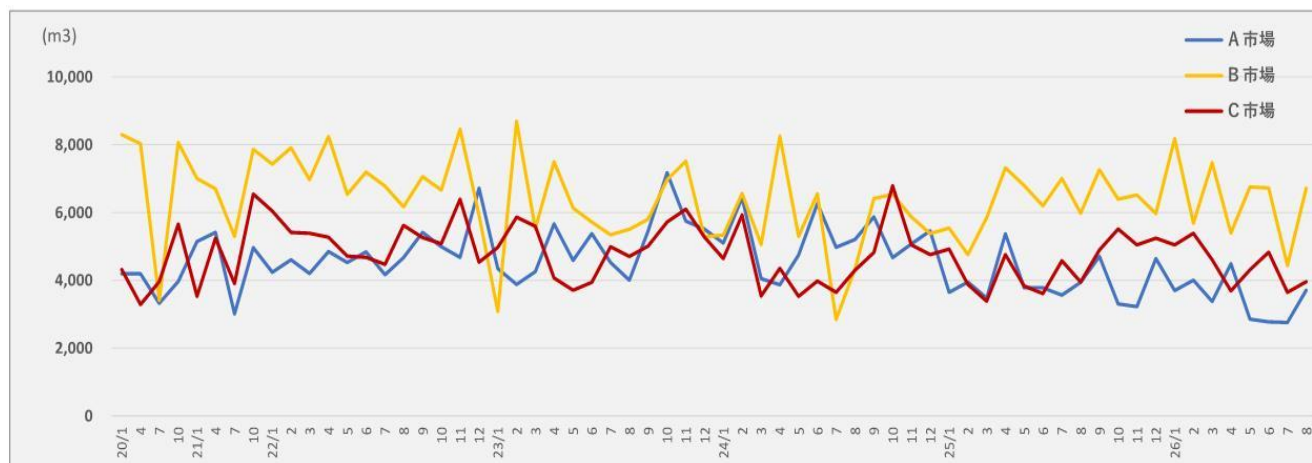
注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

I 管内における原木市場・共販所の状況

2-(1) 愛媛県内の丸太取扱量

- 愛媛県内の主な原木市場・共販所における令和8年6～8月の丸太取扱量は、同年3～5月と比較して92%。
- 直近3か月（6～8月）の3市場合計の取扱量は、前年同期比93%と減少。



直近3か月（6～8月）の入荷量

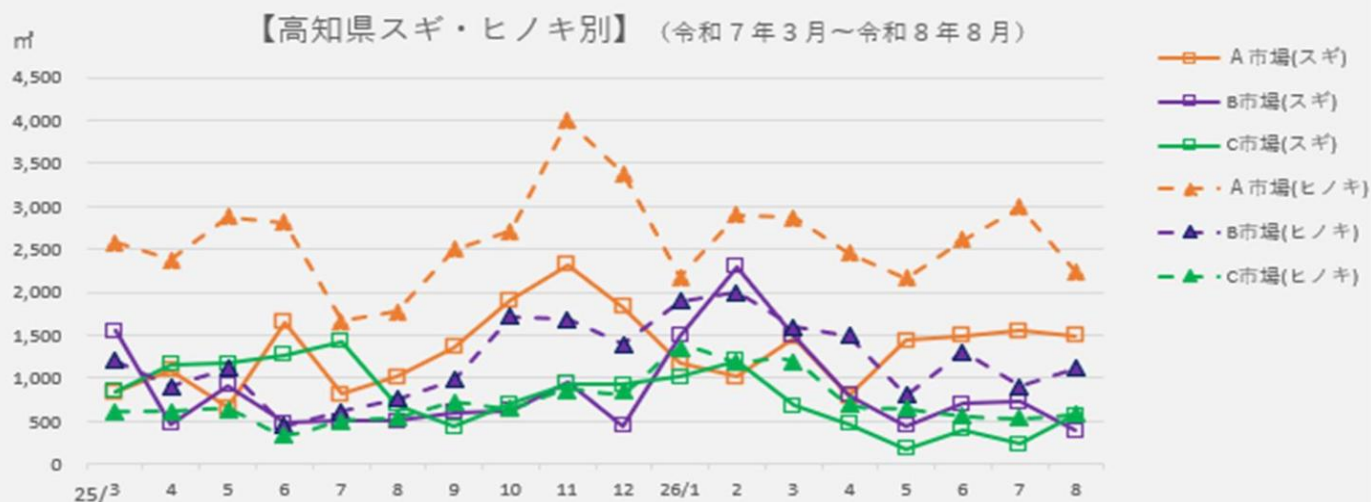
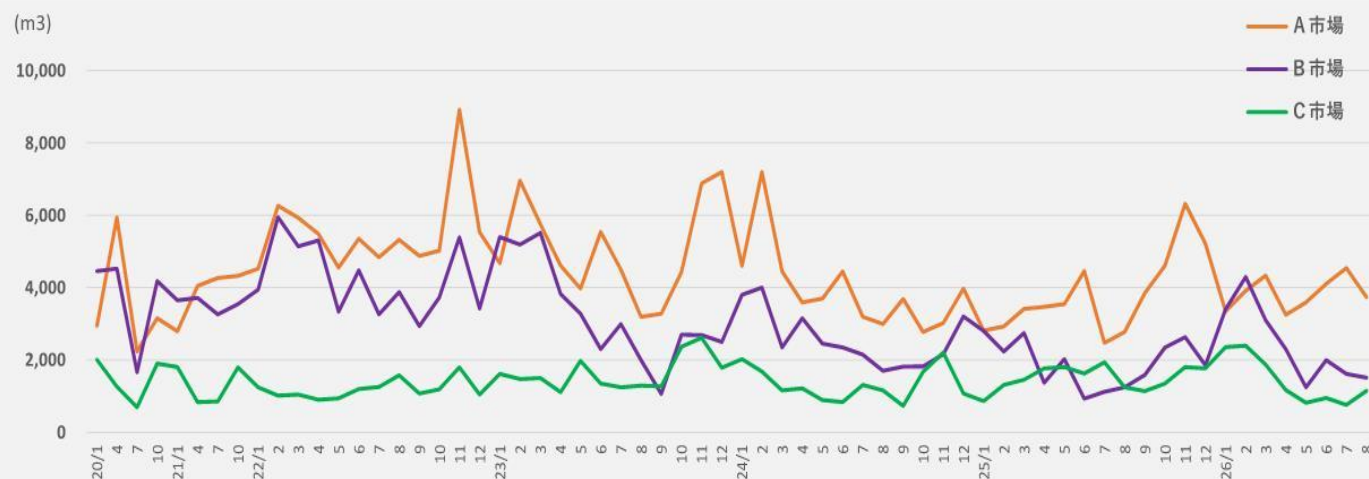
	2026年6～8月			2025年6～8月			前年度同期比
	スギ	ヒノキ	計	スギ	ヒノキ	計	
A市場	6,519	2,730	9,249	8,015	3,263	11,278	82%
B市場	12,791	5,093	17,884	14,537	4,637	19,174	93%
C市場	4,906	7,528	12,434	3,854	8,288	12,142	102%
計	24,216	15,351	39,567	26,406	16,188	42,594	93%

（市場関係者のコメント）

- ・天候も安定し入荷量は増加傾向。
- ・入荷量は横ばい。
- ・スギの引き合いは安定している。ヒノキは製材所の原木の在庫不足でやや強含み。
- ・引取りについてはスギ、ヒノキとも良好。
- ・時期も良くなり、出材は回復すると予想。
- ・原木の品薄の中強含む品等があるが、今後は不透明。

2-(2) 高知県の丸太取扱量の推移

- 高知県内の主な原木市場・共販所における令和8年6～8月の丸太取扱量は、同年3～5月と比較して94%。
- 直近3か月（6～8月）の3市場合計の取扱量は、前年同期比114%と増加。



直近3か月（6～8月）の入荷量

	2026年6～8月			2025年6～8月			前年度同期比
	スギ	ヒノキ	計	スギ	ヒノキ	計	
A市場	4,550	7,844	12,394	3,475	6,239	9,714	128%
B市場	1,810	3,320	5,130	1,485	1,819	3,304	155%
C市場	1,199	1,663	2,862	3,400	1,400	4,800	60%
計	7,559	12,827	20,386	8,360	9,458	17,818	114%

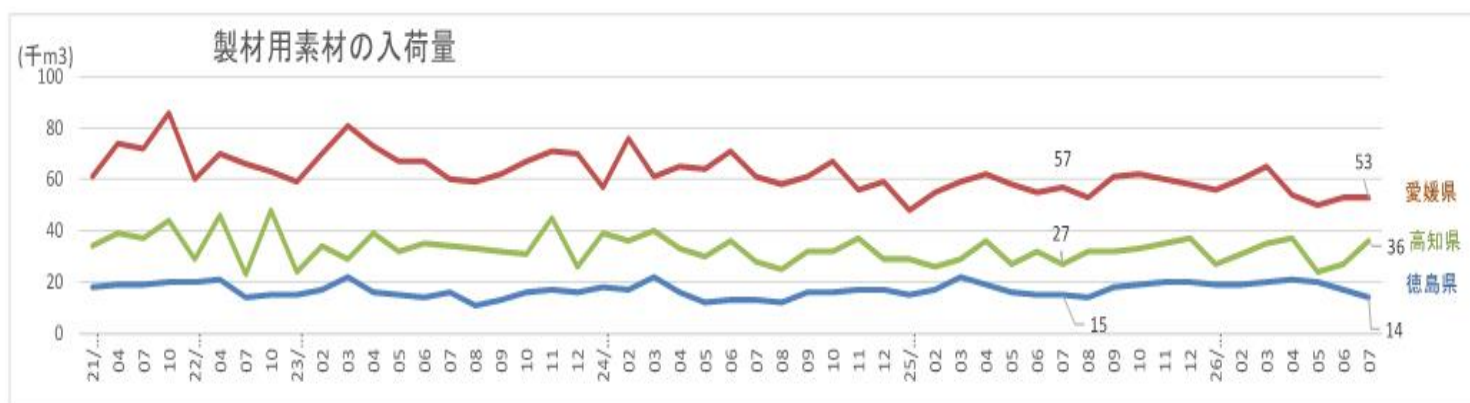
(市場関係者のコメント)

- ・入荷量は全体的に減少。
- ・スギの引き合いは横ばい。ヒノキは引き合いが弱い。
- ・材の引取りは良好。
- ・今後の引き合いはスギ、ヒノキとも現状で推移する見通し。

Ⅱ 管内における製材等の状況

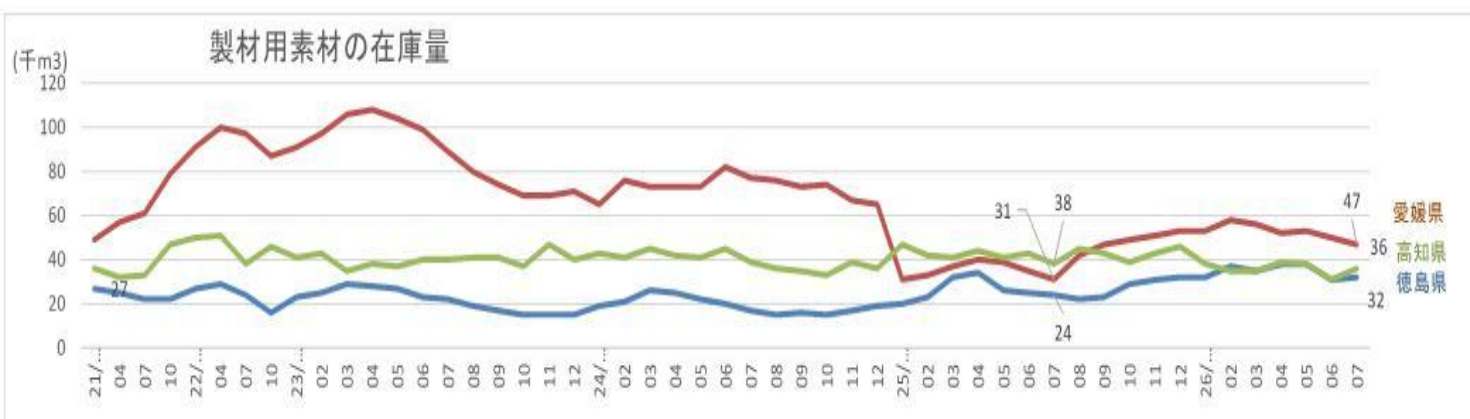
1. 製材用素材の入荷量及び在庫量の推移（令和3年～令和8年）

- 四国の5～7月の工場の製材用素材の入荷量は、29万4千m³（前年度比97%）。徳島県は前年度比で111%、愛媛県は92%、高知県は101%。
- 5～7月の製材用素材の月平均在庫量は、4万m³（前年度比118%）。徳島県は前年度比136%、愛媛県は143%、高知県は85%。



(千m³)

5～7月製材用素材入荷量			
	2026年	2025年	前年度比
徳島	51	46	111%
愛媛	156	170	92%
高知	87	86	101%
四国計	294	302	97%

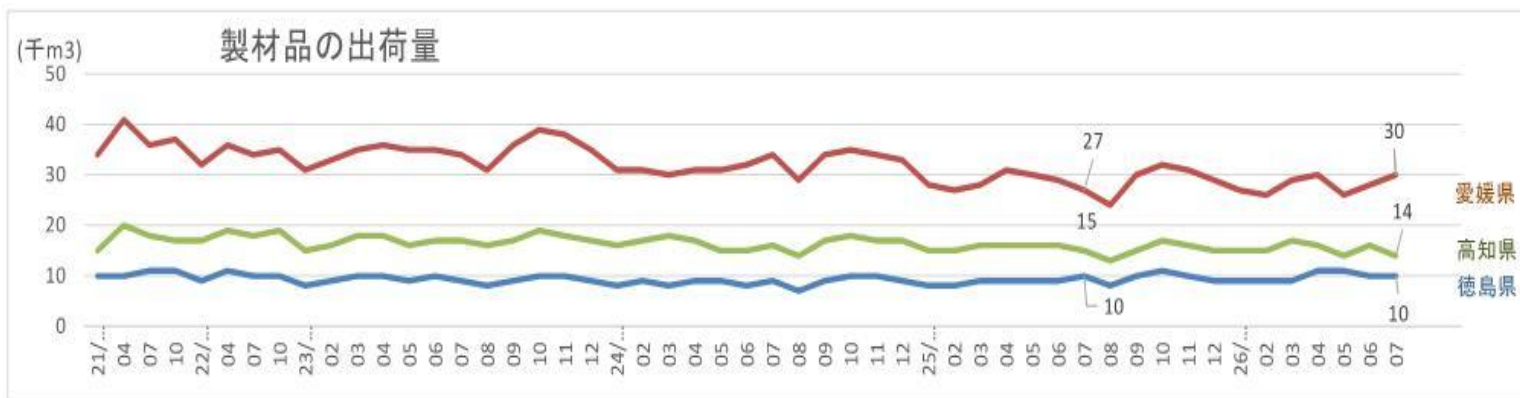


(千m³)

5～7月製材用素材在庫量(月平均)			
	2026年	2025年	前年度比
徳島	34	25	136%
愛媛	50	35	143%
高知	35	41	85%
四国計	40	34	118%

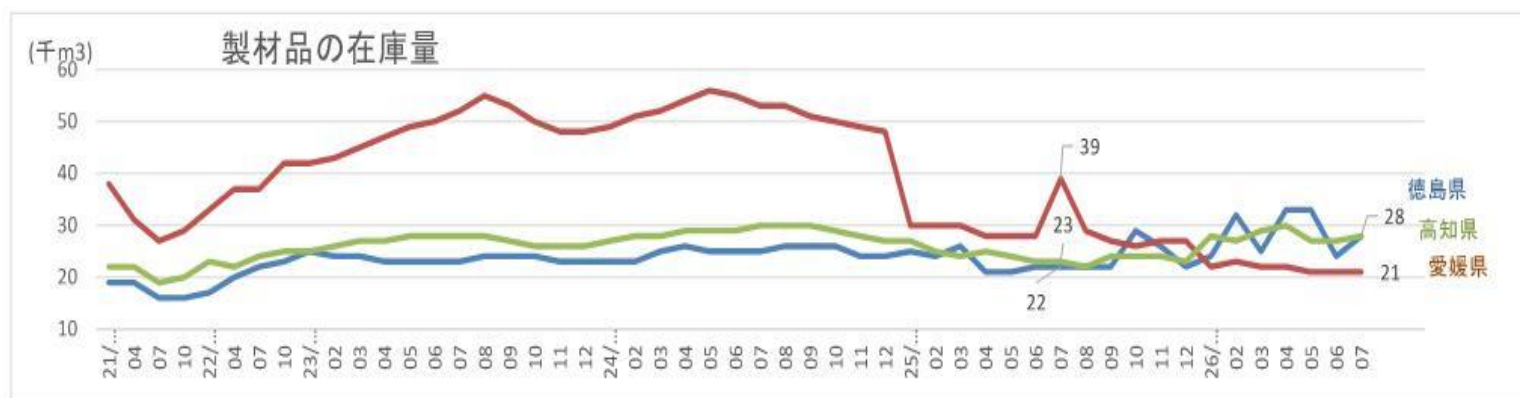
2. 製材品の出荷量及び在庫量の推移（令和3年～令和8年）

- 四国の5～7月の製材品出荷量は、15万9千m³（前年度比99%）。徳島県は前年度比で111%、愛媛県は98%、高知県は94%。
- 5～7月の製材品の月平均在庫量は、2万5千m³（前年度比100%）。徳島県は前年度比127%、愛媛県は72%、高知県は108%。



（千m³）

5～7月製材品出荷量			
	2026年	2025年	前年度比
徳島	31	28	111%
愛媛	84	86	98%
高知	44	47	94%
四国計	159	161	99%

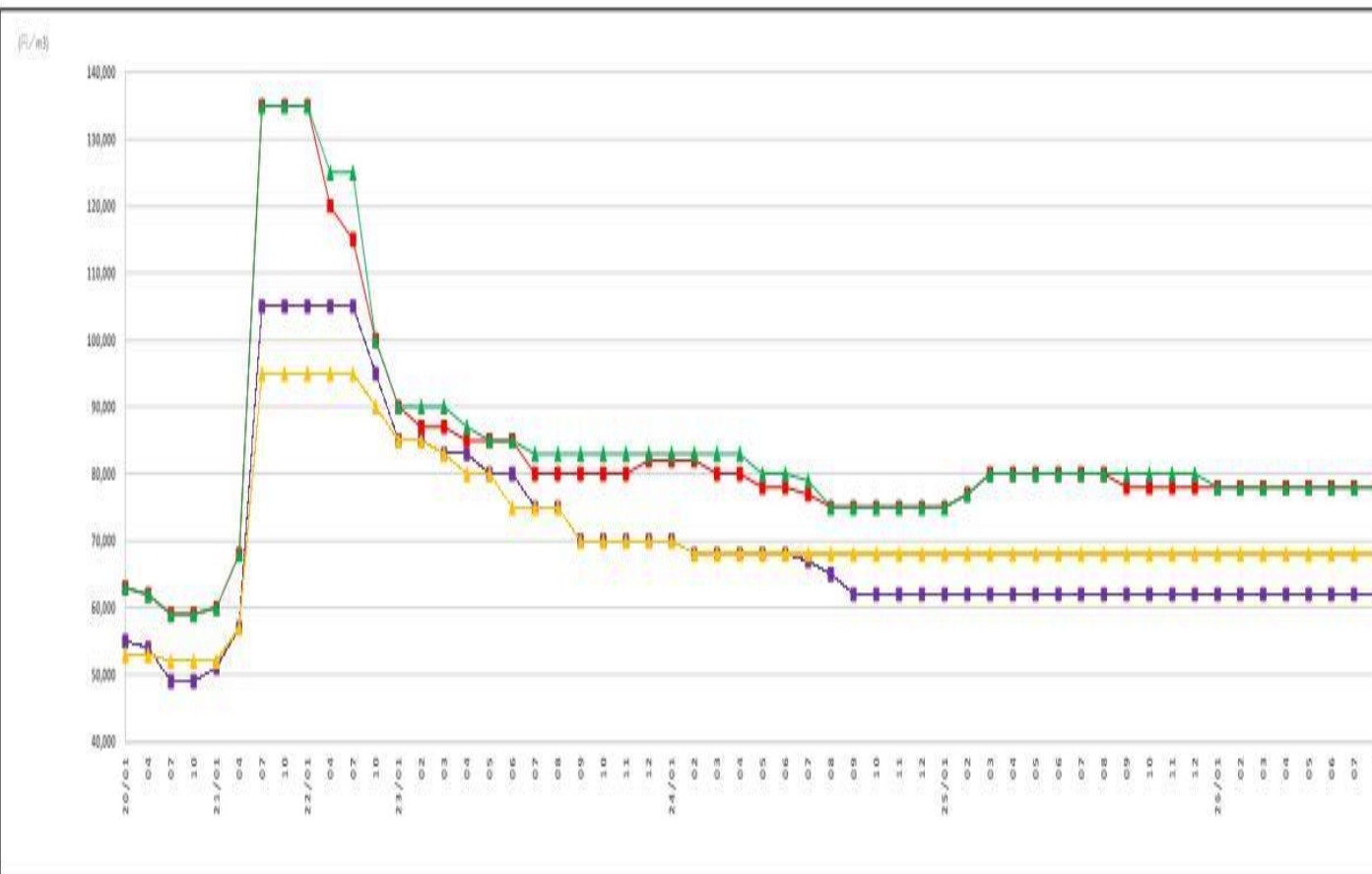


（千m³）

5～7月製材品在庫量（月平均）			
	2026年	2025年	前年度比
徳島	28	22	127%
愛媛	21	29	72%
高知	27	25	108%
四国計	25	25	100%

3. 製材品価格の推移

- スギは横ばい、ヒノキはほぼ横ばいで推移。
- 前年同月比ではスギは100%。ヒノキは98%。



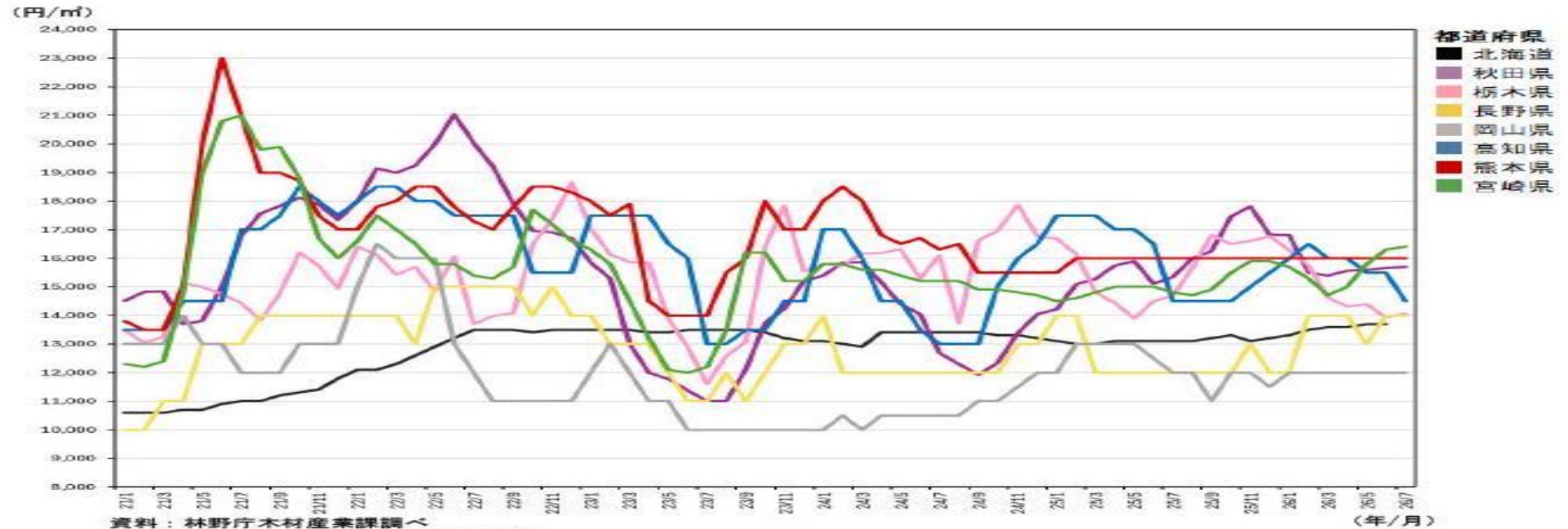
国産材製品の相場（愛媛県）令和8年8月（市売価格） (円/m³)

品目	当月	前年 同月	前年 同月比
■ スギ柱 3 m × 105 mm 角KD特等	62,000	62,000	100%
▲ スギ間柱 3 m × 105 × 30 mm 角KD特等	68,000	68,000	100%
■ ヒノキ柱 3 m × 105 mm 角KD特等	78,000	80,000	98%
▲ ヒノキ土台 4 m × 105 mm 角KD特等	78,000	80,000	98%

Ⅲ 全国の丸太価格の動向

木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円～16,400円/㎡となっている。

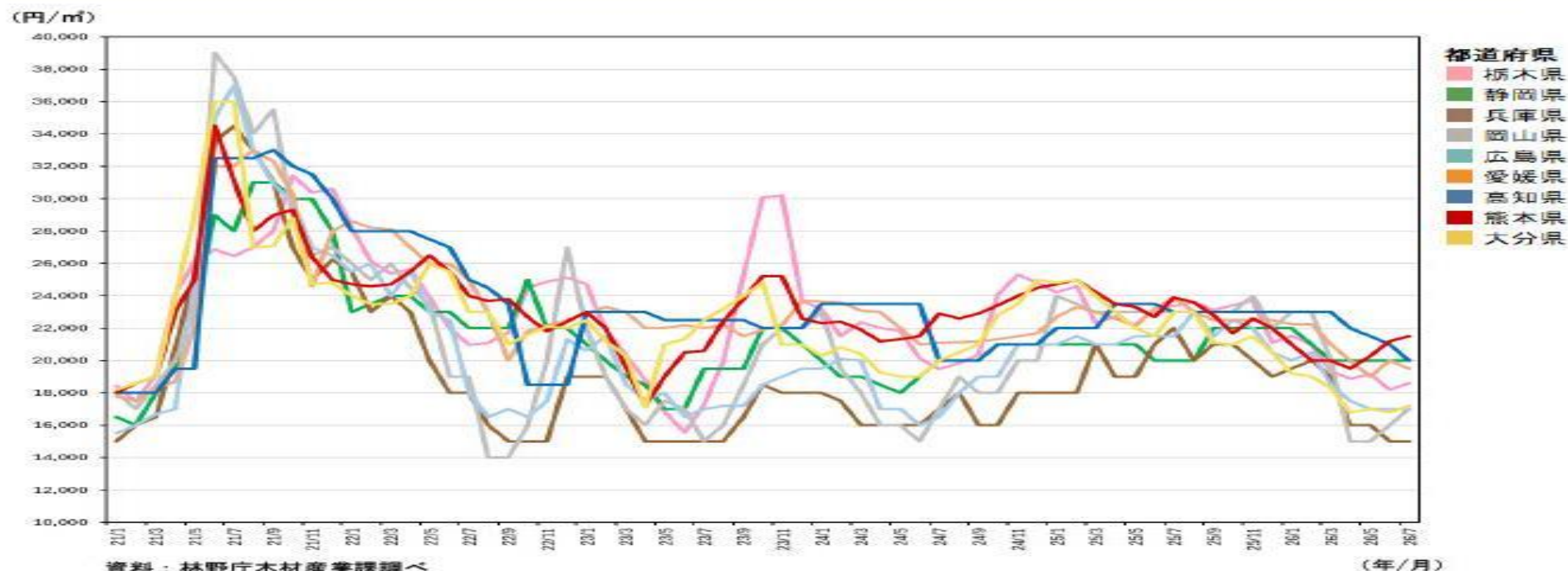


(単位：円/㎡)

都道府県	2026年 直近※	前年 同期	前年 同期比
北海道	13,700	13,100	105%
秋田県	15,690	15,350	102%
栃木県	14,060	14,680	96%
長野県	14,000	12,000	117%
岡山県	12,000	12,000	100%
高知県	14,500	14,500	100%
熊本県	16,000	16,000	100%
宮崎県	16,400	14,800	111%

※北海道については6月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については7月の値を使用。

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、15,000円～21,500円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2021年1月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/㎡)

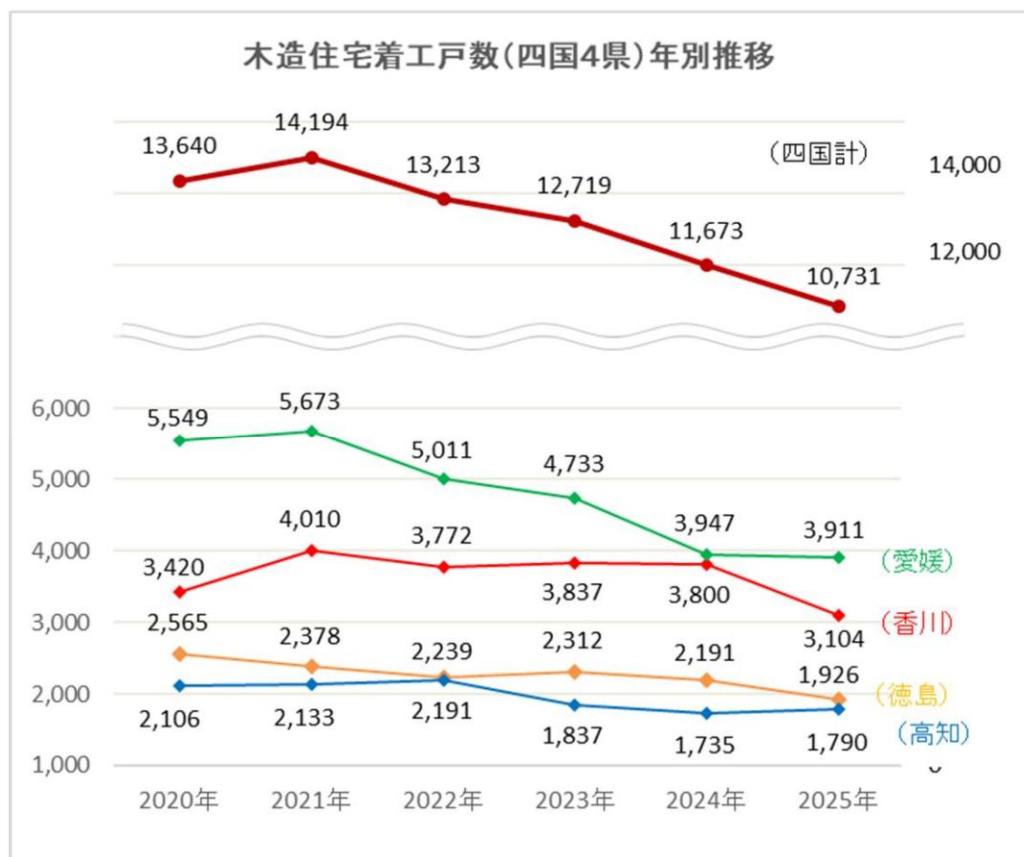
都道府県	2026年 直近※	前年 同期	前年 同期比
長野県	18,610	23,380	80%
静岡県	20,000	20,000	100%
兵庫県	15,000	22,000	68%
岡山県	17,000	23,000	74%
広島県	17,000	21,500	79%
愛媛県	19,500	23,900	82%
高知県	20,000	23,000	87%
熊本県	21,500	23,900	90%
大分県	17,200	23,000	75%

※各県7月の値を使用。

Ⅳ 住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移（2020年～）

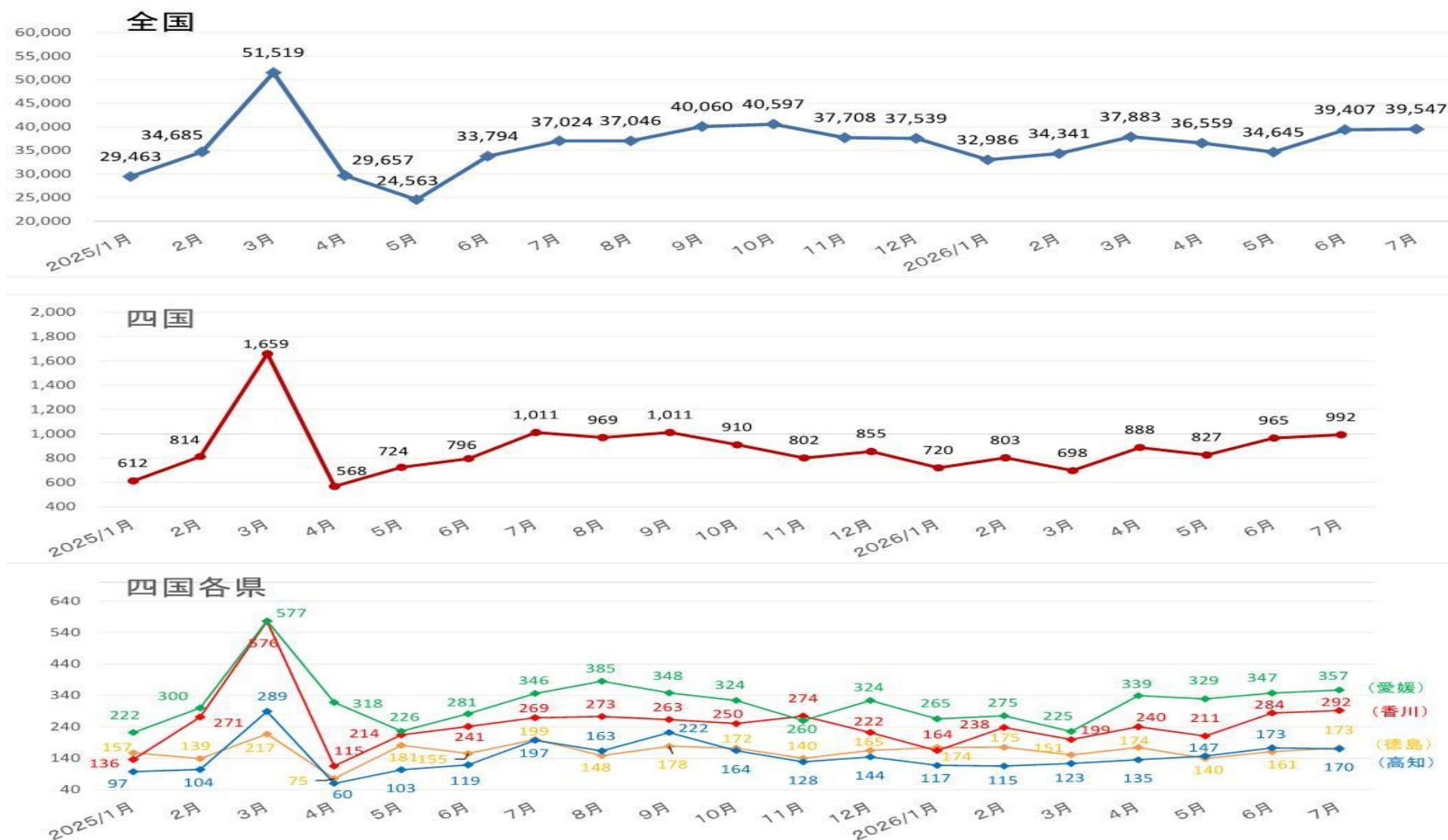
- 四国における2025年の木造住宅着工戸数は、10,731戸（前年比91.9%）となり、近年で最も低い水準となった。
- 2026年7月末現在四国全体では5,893戸（前年比95.3%）。県別をみると、愛媛県2,137戸（前年比94.1%）、香川県1,628戸（前年比89.4%）、徳島県1,148戸（前年比102.2%）、高知県980戸（前年比101.1%）。



Ⅳ 住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移（2025年1月～2026年7月）

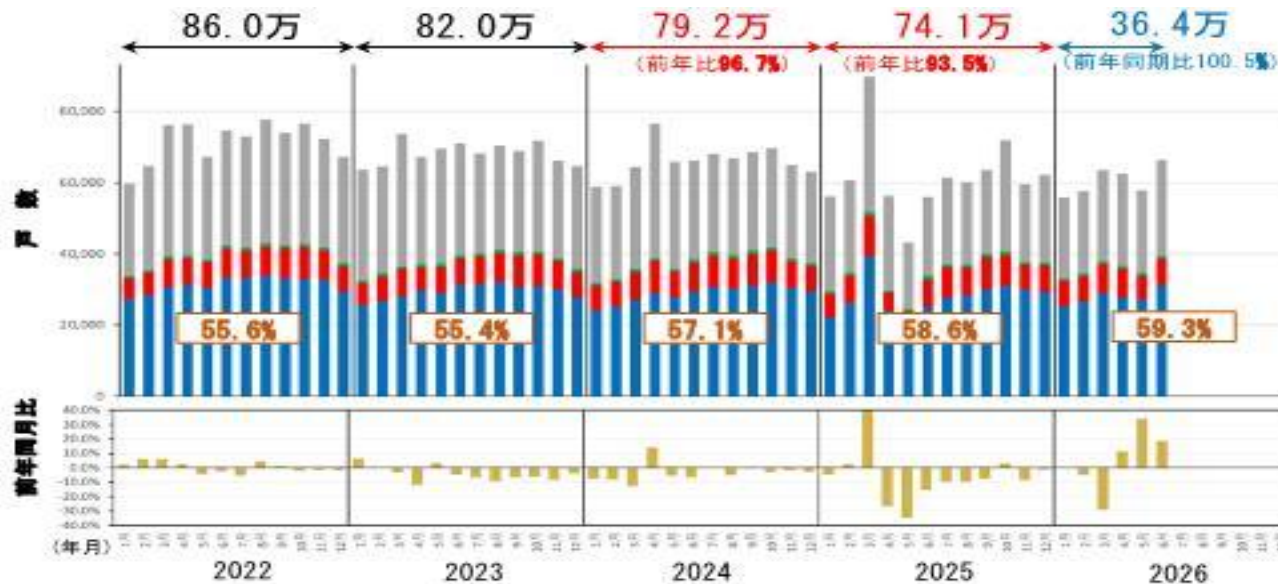
➤ 四国全体の着工戸数は昨年7月以降はほぼ横ばいで推移している。各県も同様にほぼ横ばいで推移している。



資料：国土交通省「住宅着工統計」

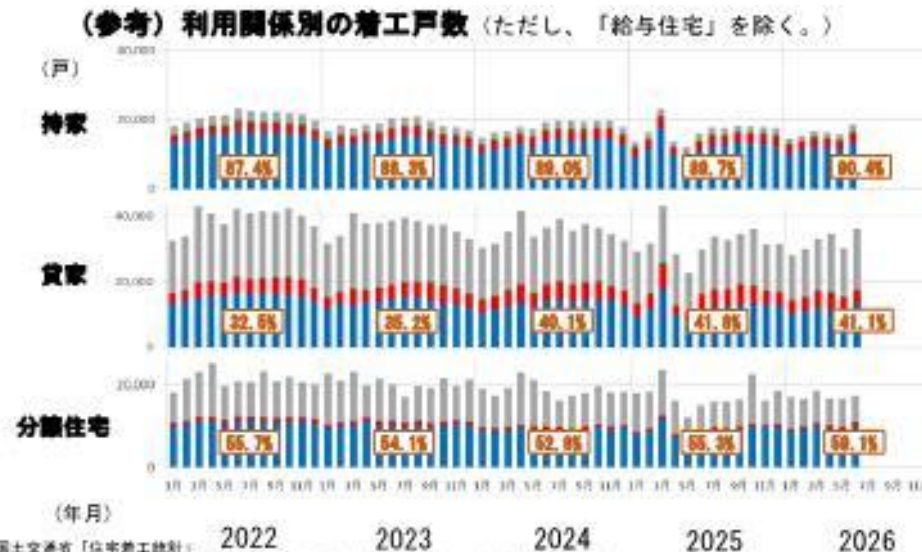
2 全国の住宅着工戸数の推移（2022年1月～2026年6月）

- ・ 2025年の新設住宅着工戸数は、74.1万戸（前年比93.5%）、このうち木造住宅は、43.4万戸（同96.0%）。
- ・ 2026年1～6月の新設住宅着工戸数は、36.4万戸（前年同期比100.5%）、このうち木造住宅は、21.6万戸（前年同期比105.8%）。



構造別の着工戸数	2026年 1～6月	2025年 同期	2025年 同期比	2024年 同期	2024年 同期比
合計	363,813	361,900	100.5%	391,118	93.0%
■非木造	147,992	157,900	93.7%	177,971	83.2%
■木造	215,821	204,000	105.8%	213,147	101.3%
■木造プレハブ	4,848	5,236	92.6%	4,811	100.8%
■2×4	43,817	43,180	101.5%	45,871	95.5%
■在来軸組	167,156	155,584	107.4%	162,465	102.9%
□木造率	59.3%	56.4%		54.5%	

（単位：戸）



資料：国土交通省「住宅着工統計」
※ 令和7年4月30日に公表値の一部訂正があり、本項の数は訂正後の公表値に基づいている。

(資料2)

令和8年度 四国森林管理局木材供給量(素材・立木)

○素材生産・販売量は、8月末時点で6万9,000m³。9月以降は12万4,000m³予定しており、計19万3,000m³を予定。

○立木販売量は、8月末時点で契約済みが4件6,000m³。9月以降は12万7,000m³の発売公告を予定。

令和8年度 素材供給量 ※9月以降は見込数量

令和8年度 素材供給量 ※9月以降は見込数量														素材材積				(単位: m3)	
県	署(所)	4月	5月	6月	7月	8月	4～8月小計	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	9～3月小計	計			
徳島	徳島							(1,150)	(1,300)	(1,100)	(1,050)	(1,050)	(950)		(6,600)	6,600			
愛媛	愛媛	1,182	2,696	2,810	5,114	2,895	14,697	(4,350)	(5,550)	(5,050)	(4,850)	(4,850)	(4,150)	(3,950)	(32,750)	47,447			
高知	四万十	4,957	5,411	5,740	8,144	5,452	29,704	(4,000)	(6,100)	(5,500)	(5,300)	(5,300)	(4,400)	(4,100)	(34,700)	64,404			
	嶺北		2,610	1,609	2,319	1,308	7,846	(1,850)	(2,250)	(2,050)	(2,050)	(2,050)	(1,750)	(1,450)	(13,450)	21,296			
	高知中部	1,089	1,086	473	451		3,099	(600)	(800)	(600)	(600)	(800)	(700)	(600)	(4,700)	7,799			
	安芸		4,828	2,820	4,047	1,592	13,287	(3,800)	(4,650)	(4,250)	(4,050)	(4,250)	(3,750)	(3,450)	(28,200)	41,487			
	小計	6,046	13,935	10,642	14,961	8,352	53,936	(10,250)	(13,800)	(12,400)	(12,000)	(12,400)	(10,600)	(9,600)	(81,050)	134,986			
香川	香川事		344	76	429		849	(450)	(450)	(450)	(450)	(450)	(450)	(450)	(3,150)	3,999			
計		7,228	16,976	13,528	20,504	11,247	69,483	(16,200)	(21,100)	(19,000)	(18,350)	(18,750)	(16,150)	(14,000)	(123,550)	193,033			
システム販売																121,000			
委託販売																72,000			

令和8年度 立木販売量 ※9月以降は発売公告予定数量

令和8年度 立木販売量 ※9月以降は公表公告予定数量														立木材積				(単位:m3)	
県	署(所)	4月	5月	6月	7月	8月	4～8月小計	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	9～3月小計	計			
徳島	徳島							(10,100)							(10,100)	10,100			
愛媛	愛媛		1,719	1,161		2,350	5,230	(3,087)	(3,856)		(538)			(2,200)	(9,681)	14,911			
高知	四万十				912		912	(12,764)	(1,153)	(8,524)	(6,949)	(7,022)	(3,588)	(7,798)	(47,798)	48,710			
	嶺北								(5,277)		(2,638)			(8,816)	(16,731)	16,731			
	高知中部							(10,000)							(10,000)	10,000			
	安芸							(2,841)			(7,036)	(945)	(4,709)	(6,126)	(21,657)	21,657			
	小計				912		912	(25,605)	(6,430)	(8,524)	(16,623)	(7,967)	(8,297)	(22,740)	(96,186)	97,098			
香川	香川事							(3,343)		(2,769)			(2,019)	(3,280)	(11,411)	11,411			
計			1,719	1,161	912	2,350	6,142	(42,135)	(10,286)	(11,293)	(17,161)	(7,967)	(10,316)	(28,220)	(127,378)	133,520			

(資料 3)

ヒノキを含む立木販売物件 搬出期間延長実施箇所

令和８年度第１回四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会検討結果（別添）に基づき、ヒノキを含む立木販売物件のうち、令和８年度内に搬出期間が満了する以下の物件について、搬出期限の延長を行った。（令和８年６月）

[illegible]

令和8年度第1回四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会の開催結果について

令和8年6月18日、令和8年度第1回目の「四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会」を開催いたしました。

委員会では、「木材需要については、住宅着工の減少に伴う需要の減退が予見される一方、円安の進行等の影響により、管柱や間柱等の建築用材について、輸入材から国産材へと代替が進む動きが見られるところである。

四国管内においては、ヒノキの製品需要が弱く、ヒノキ原木が供給過多の状況にあることから、ヒノキ原木の引き合いが弱く昨年末から価格が下落傾向にある。

また、一部製材工場では入荷量を抑制する動きも見られるところである。

以上の状況を踏まえ、ヒノキ原木の供給を抑制するため、国有林において搬出期間が迫っている売買契約済みのヒノキを含む立木販売物件の搬出期間の延長を行うことが望ましい。

引き続き、原木市場や製材工場におけるヒノキ原木の需給動向を注視しつつ、地域の実情に即した更なる供給調整の対応を含め検討することが必要である。」との検討結果となりました。

「定常範囲を逸脱する動き」について

(資料4)

分析結果

(ア) 木材価格の前月比における逸脱の有無

(調査月 令和8年4月～令和8年7月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きなし。

(イ) 木材価格の前月比における下落(上昇)の連続(5ヶ月以上)

(調査月 令和8年4月～令和8年7月)

【スギ中丸太】 ・ 5ヶ月以上連続した動きなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 6月以降は連続した動きなし。

(ウ) 木材価格の前年度同月比における逸脱の有無

(調査月 令和8年4月～令和8年7月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きなし。

(エ) 木材価格の2ヶ年平均価格比における逸脱の有無

(調査月 令和8年4月～令和8年7月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きなし。

(オ) 製材用素材の在庫率における逸脱の有無

(調査月 令和8年4月～令和8年7月)

【徳島県・愛媛県スギ】 ・ 定常範囲を逸脱した動きなし。

【愛媛県・高知県ヒノキ】 ・ 定常範囲を逸脱した動きなし。

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領（平成25年7月30日付け25四資第19号）の2の（ア）から（オ）に係る確認

〔判断基準・指標〕

- 「定常範囲を逸脱する動き」については、国有林材の供給調整機能検討事業調査報告書（平成24年9月28日（財）日本木材総合情報センター）に示された統計的な判断基準、指標を参考とした

- 使用データ：「国内企業物価指数」（日本銀行統計）
「木材価格」「製材統計」（農林水産省統計）

○ 丸太価格、在庫率の変動

1 スギ中丸太価格（徳島県・愛媛県）

		逸脱上限値 5.70%		逸脱下限値 -5.76%						逸脱上限値 21.95%		逸脱下限値 -22.00%		逸脱上限値 17.66%		逸脱下限値 -18.63%	
		前 月 比（％）				連続上昇・連続下落（月）				前年同月比（％）				2ヶ年平均価格比（％）			
		4 月	5 月	6 月	7 月	4 月	5 月	6 月	7 月	4 月	5 月	6 月	7 月	4 月	5 月	6 月	7 月
スギ中丸太 （径級14～22cm） （長級3.65～4.00m）		-1.43%	0.31%	0.94%	0.14%	-1	1	2	3	-3.74%	-5.43%	-5.18%	-6.44%	0.53%	-0.59%	-1.66%	-2.34%

注1）数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2）木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

2 ヒノキ中丸太価格（愛媛県・高知県）

		逸脱上限値 8.75%		逸脱下限値 -9.05%						逸脱上限値 38.60%		逸脱下限値 -39.84%		逸脱上限値 28.30%		逸脱下限値 -32.04%	
	前 月 比（％）				連続上昇・連続下落（月）				前年同月比（％）				2ヶ年平均価格比（％）				
	4 月	5 月	6 月	7 月	4 月	5 月	6 月	7 月	4 月	5 月	6 月	7 月	4 月	5 月	6 月	7 月	
ヒノキ中丸太 （径級14～22cm） （長級3.65～4.00m）	-2.43%	-6.88%	1.31%	-4.53%	-4	-5	1	-1	-13.07%	-20.87%	-18.07%	-20.75%	-8.17%	-15.75%	-15.53%	-19.00%	

注1）数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2）木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

3 製材用素材の在庫量

	素材の在庫率				逸脱上限値	逸脱下限値
	4 月	5 月	6 月	7 月		
スギ製材用素材（徳島・愛媛）	1.20	1.24	1.11	1.07	1.85	0.77
ヒノキ製材用素材（愛媛・高知）	1.03	1.05	0.94	1.10	1.57	0.86

注1）数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2）在庫率のデータは農林水産省の「製材統計」を使用し、算出したものである。

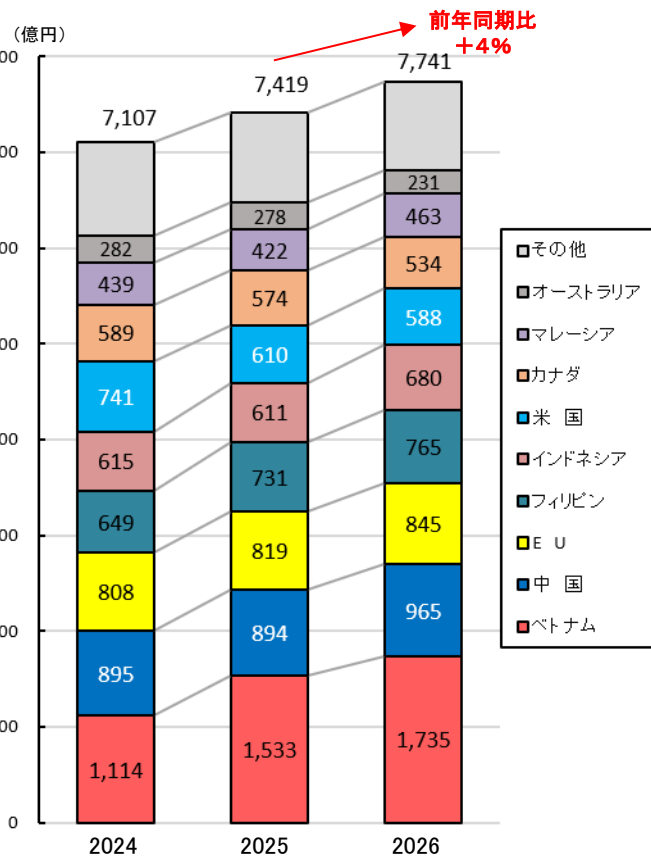
木材輸入の状況について

(2026年6月実績)

林野庁 木材貿易対策室

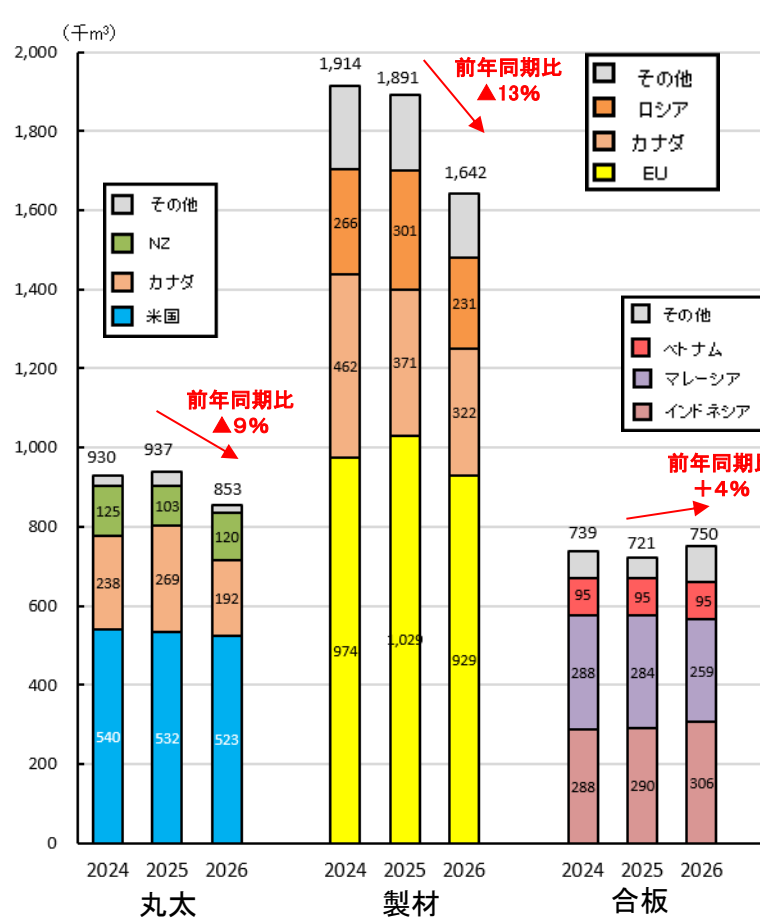
1. 2026年6月の木材輸入実績

- 2026年1月～6月の木材輸入額累計は、前年同期比+4%の7,741億円。
- 品目別の輸入量では、丸太が前年同期比▲9%、製材 同▲13%、合板 同+4%、集成材 同▲1%、木質ペレット 同+10%。
- なお、2024年同期と比較すると、木材輸入額累計は+9%。品目別輸入量では、丸太▲8%、製材▲14%、合板+1%、集成材▲16%、木質ペレット+63%。



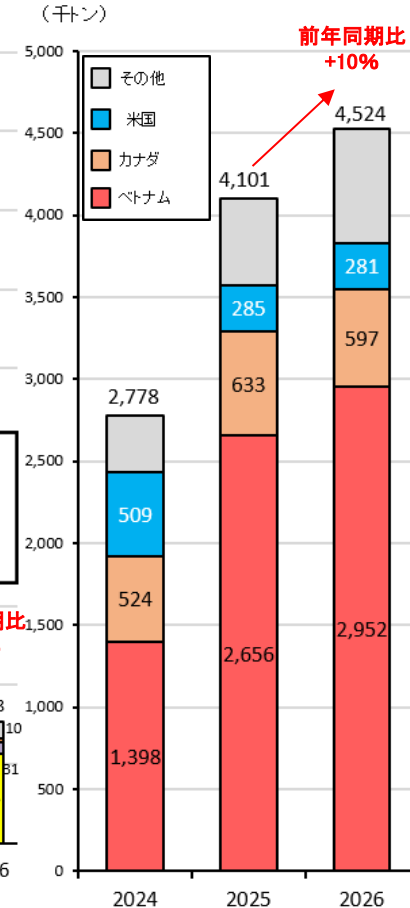
資料：財務省「貿易統計」

木材輸入額の推移
(2024～2026年における1月～6月累計)



資料：財務省「貿易統計」

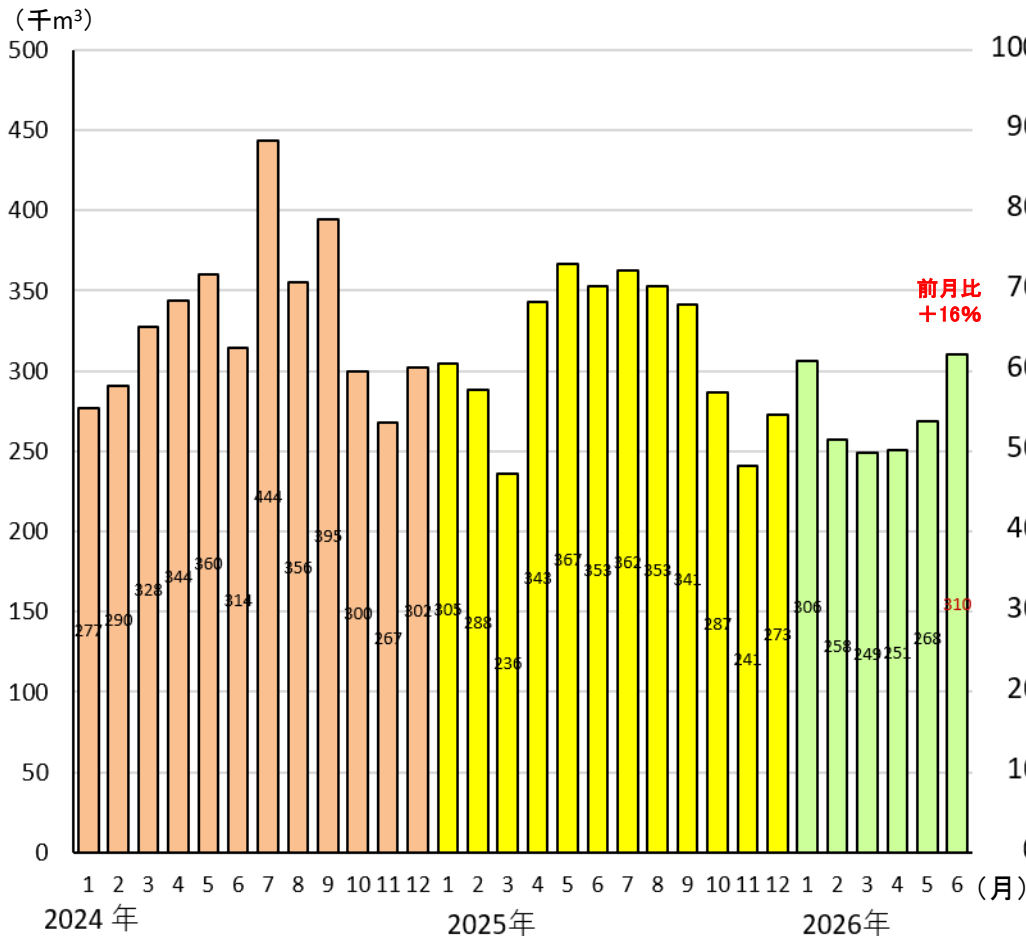
品目別木材輸入量の推移
(2024～2026年における1月～6月累計)



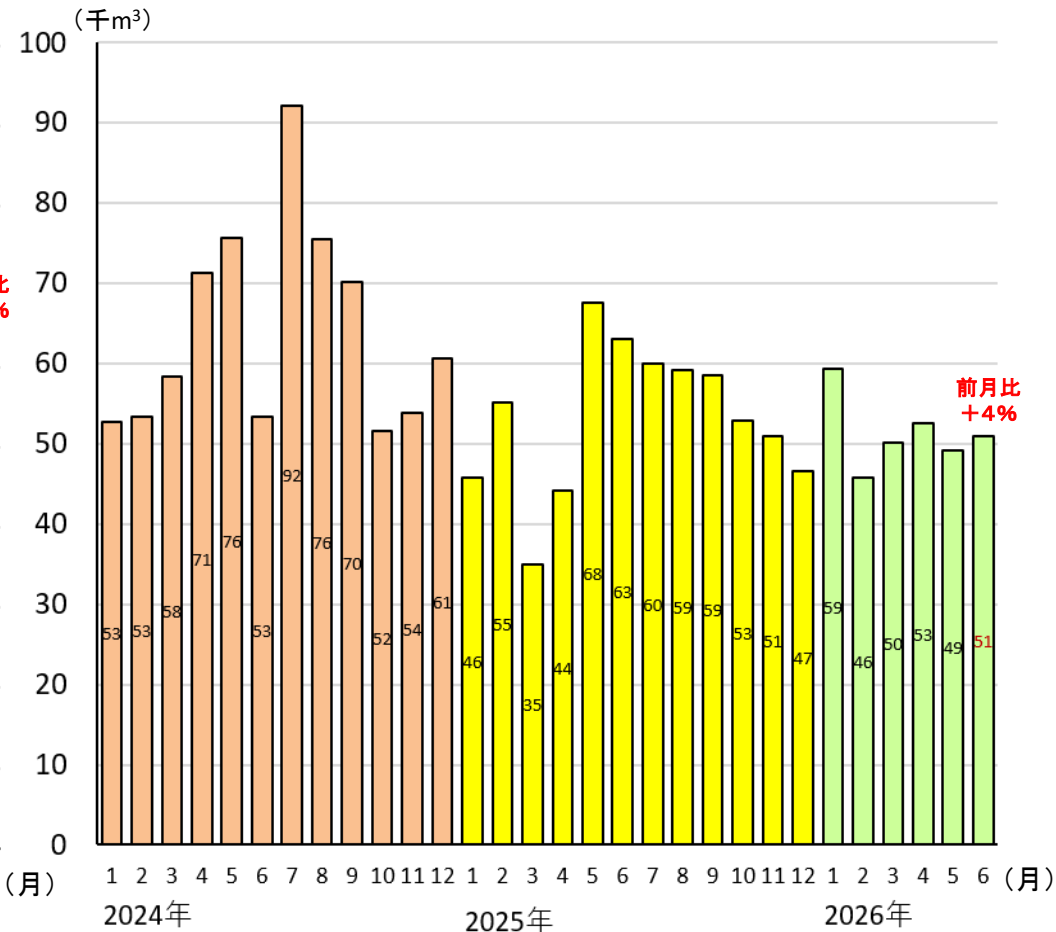
木質ペレット

2. 製材・集成材の月別輸入量

- 2026年6月の製材輸入量は、前月比+16%の31.0万m³(前年同月比▲12%)。
- 同月の集成材輸入量は、前月比+4%の5.1万m³(前年同月比▲19%)。



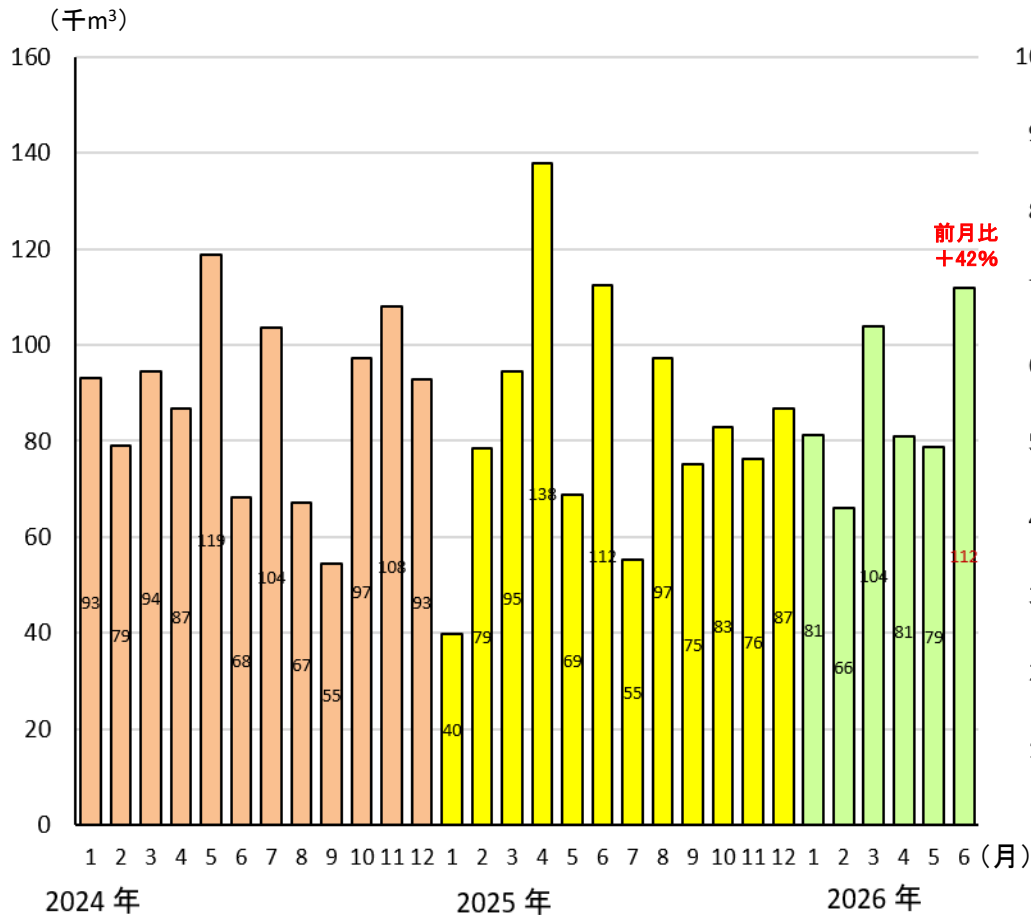
製材の輸入量



集成材の輸入量

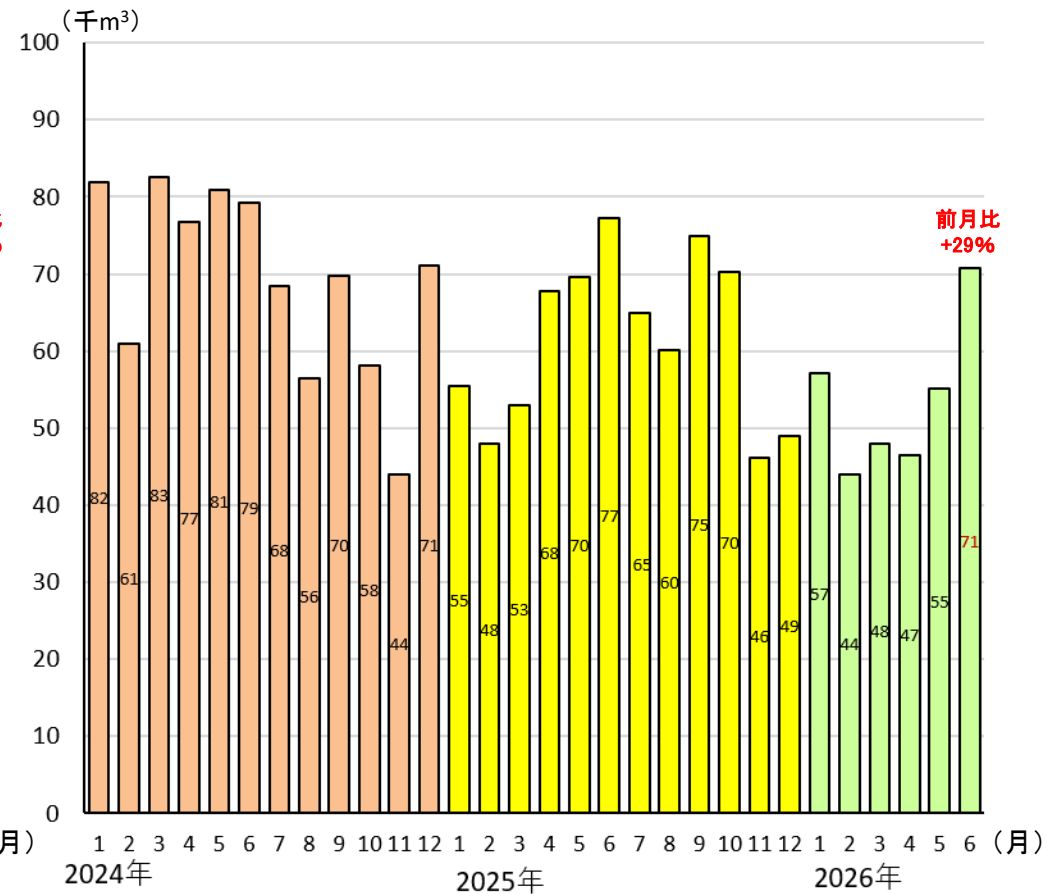
3. 北米からの月別輸入量

- 2026年6月の米国からの丸太輸入量は、前月比+42%の11.2万m³(前年同月比▲0%)。
- 同月のカナダからの製材輸入量は、前月比+29%の7.1万m³(前年同月比▲8%)。



資料:財務省「貿易統計」

米国からの丸太輸入量

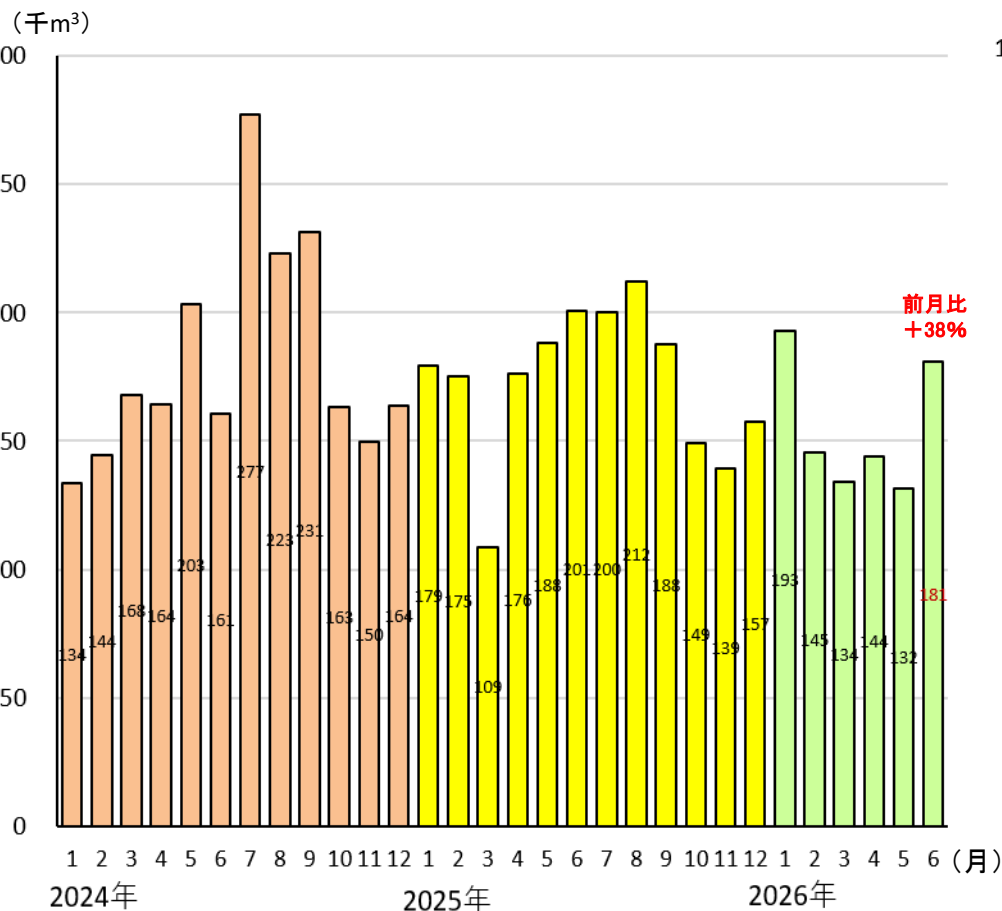


資料:財務省「貿易統計」

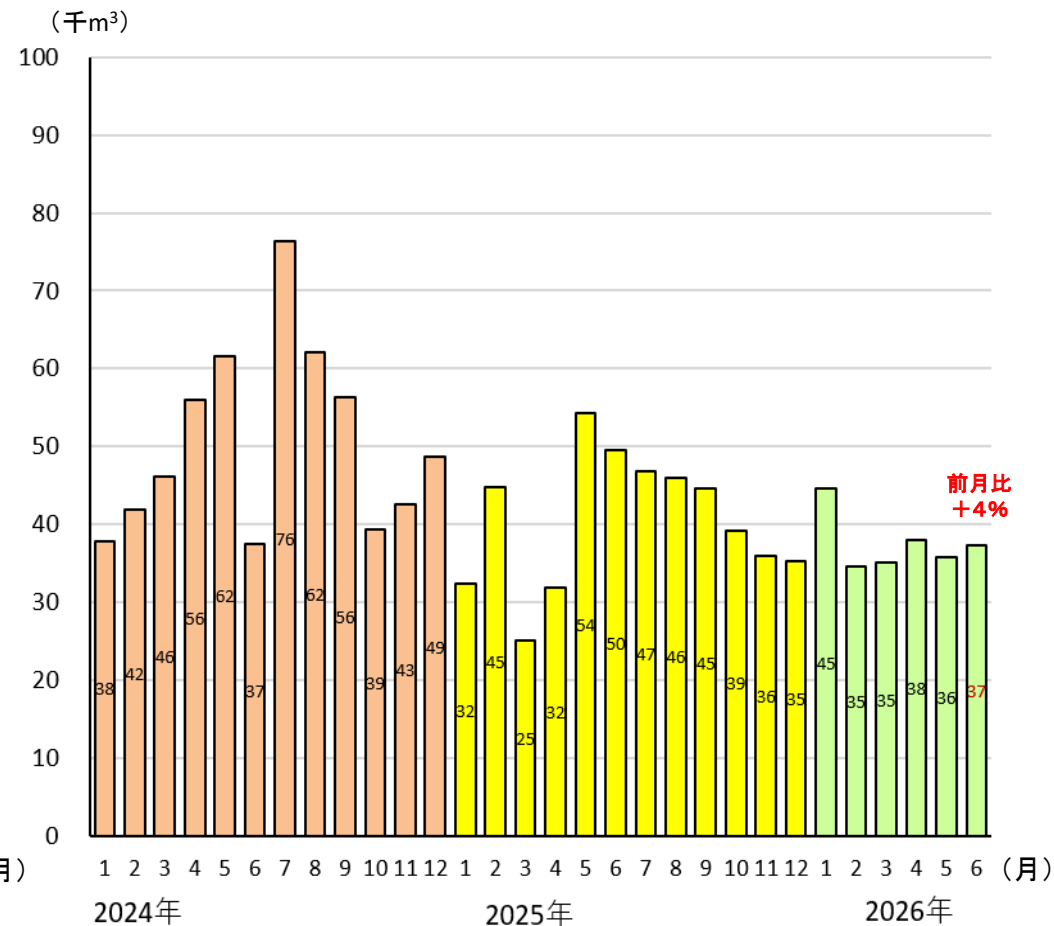
カナダからの製材輸入量

4. 欧州からの月別輸入量

- 2026年6月のEUからの製材輸入量は、前月比+38%の18.1万m³(前年同月比▲10%)。
- 同月のEUからの集成材輸入量は、前月比+4%の3.7万m³(前年同月比▲25%)。



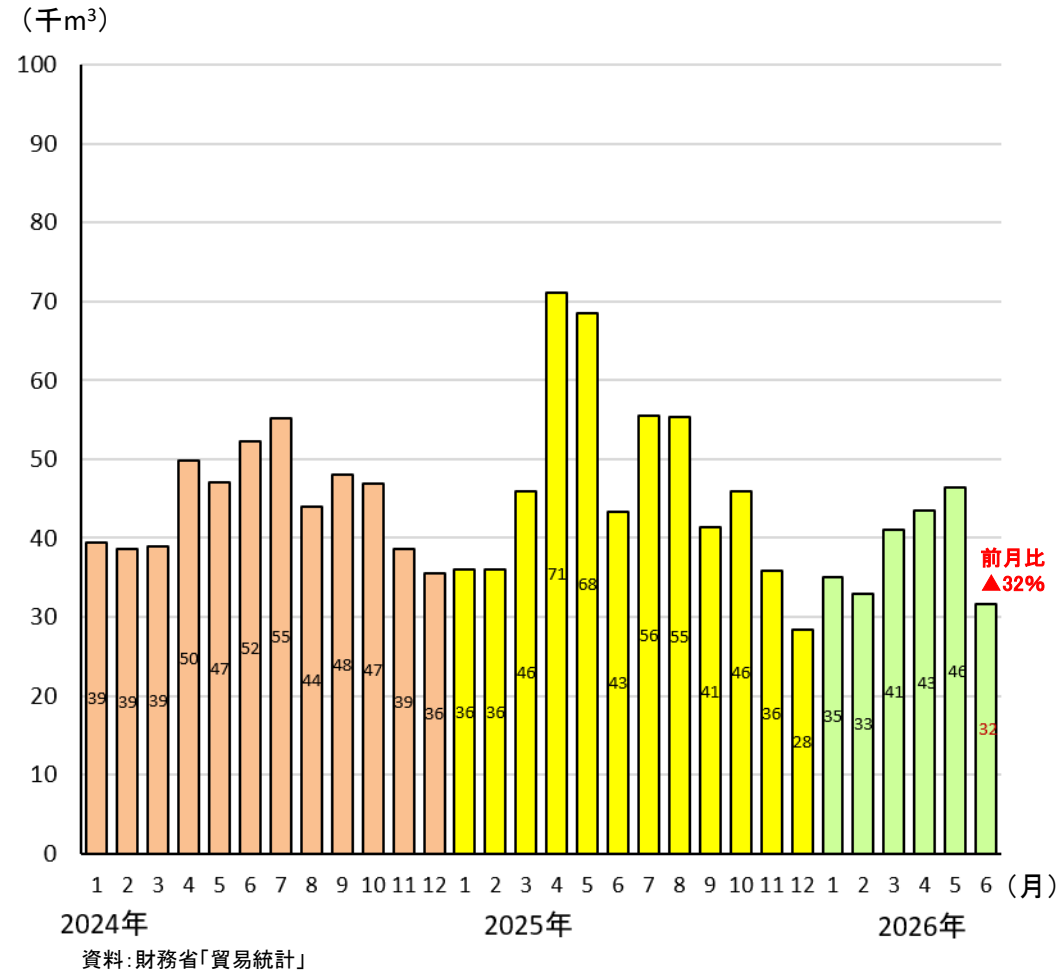
EUからの製材輸入量



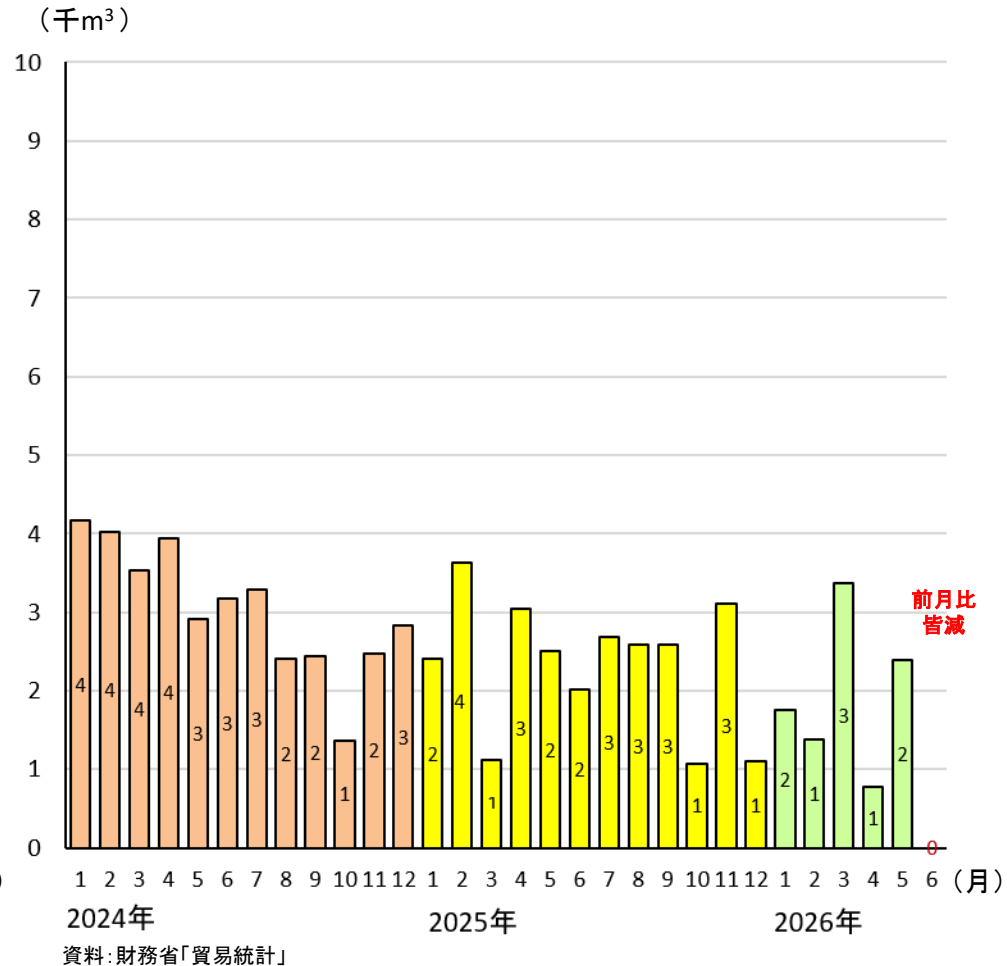
EUからの集成材輸入量

5. ロシアからの月別輸入量

- 2026年6月のロシアからの製材輸入量は、前月比▲32%の3.2万m³(前年同月比▲27%)。
- 同月のロシアからの集成材は輸入実績なし。



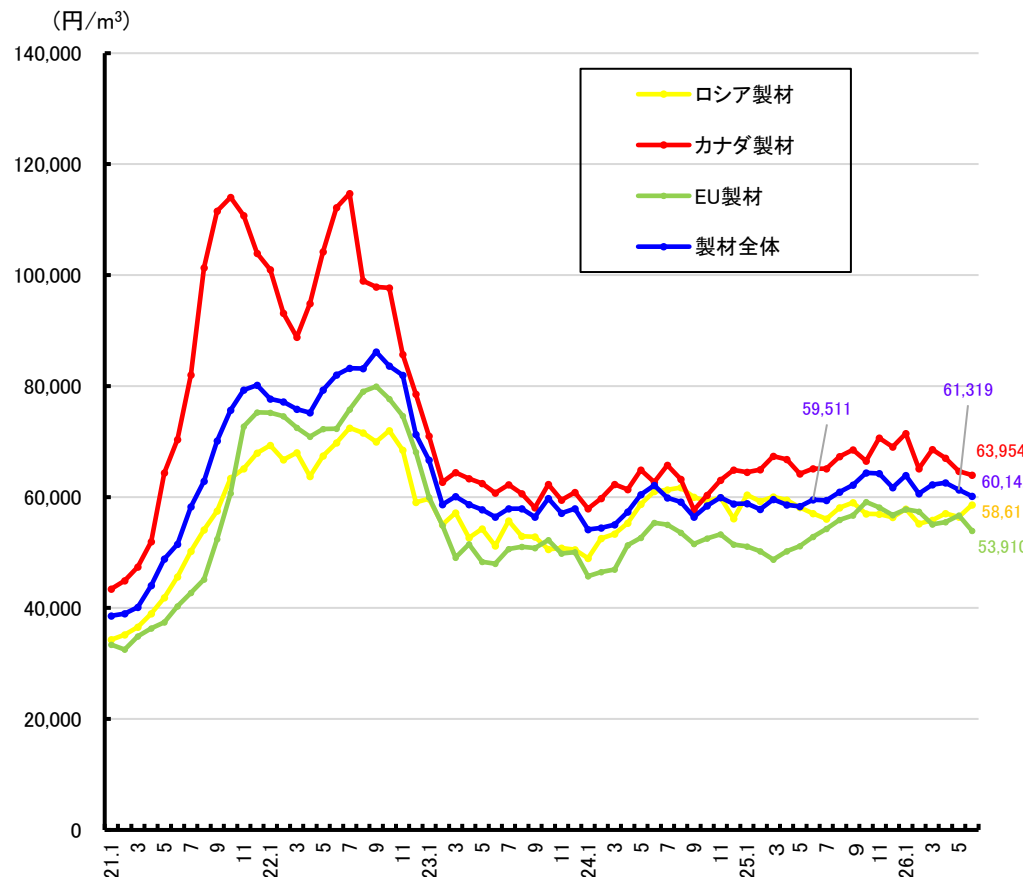
ロシアからの製材輸入量



ロシアからの集成材輸入量

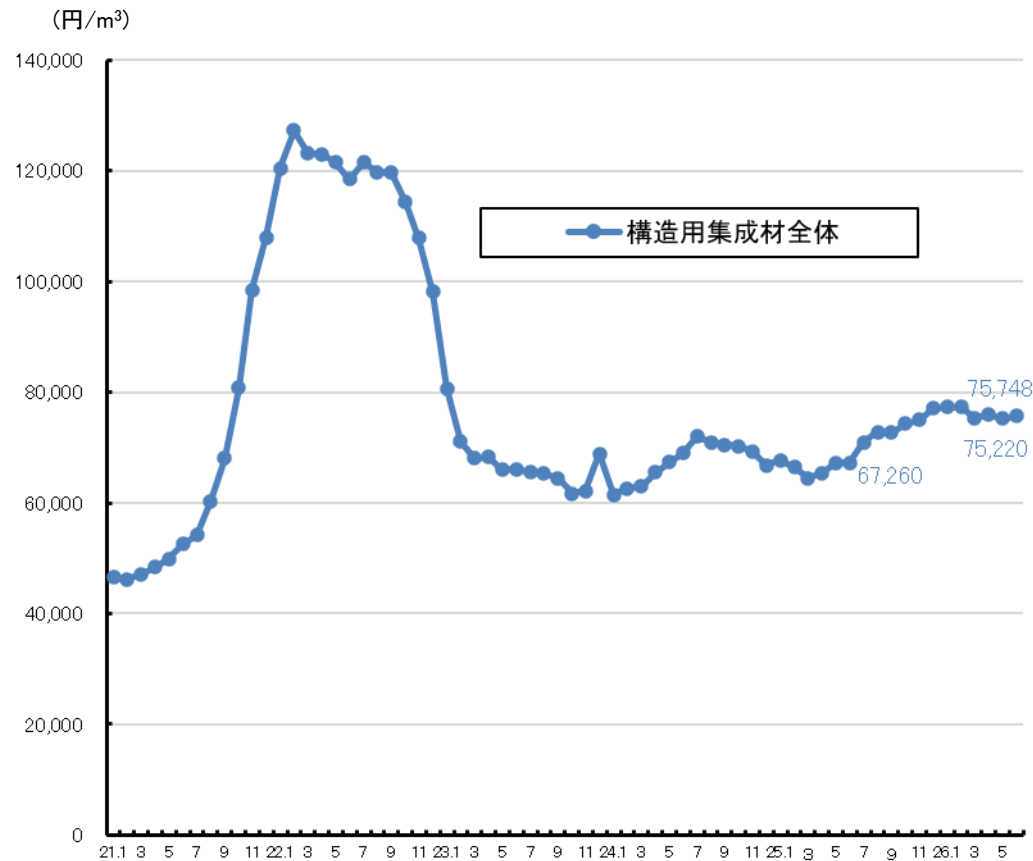
6. 製材・構造用集成材の輸入平均単価

- 2026年6月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比▲2%の60,142円/ m³（前年同月比+1%増）。国別では、カナダの製材が前月比▲1%の63,954 円/ m³（前年同月比▲2%）、EUの製材 前月比▲5%の53,910 円/ m³（前年同月比+2%）、ロシアの製材 前月比+4%の58,617円/ m³（前年同月比+3%）。
- 同月の構造用集成材輸入平均単価は、前月比+1%の75,748円/ m³（前年同月比+13%）。



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

製材の輸入平均単価

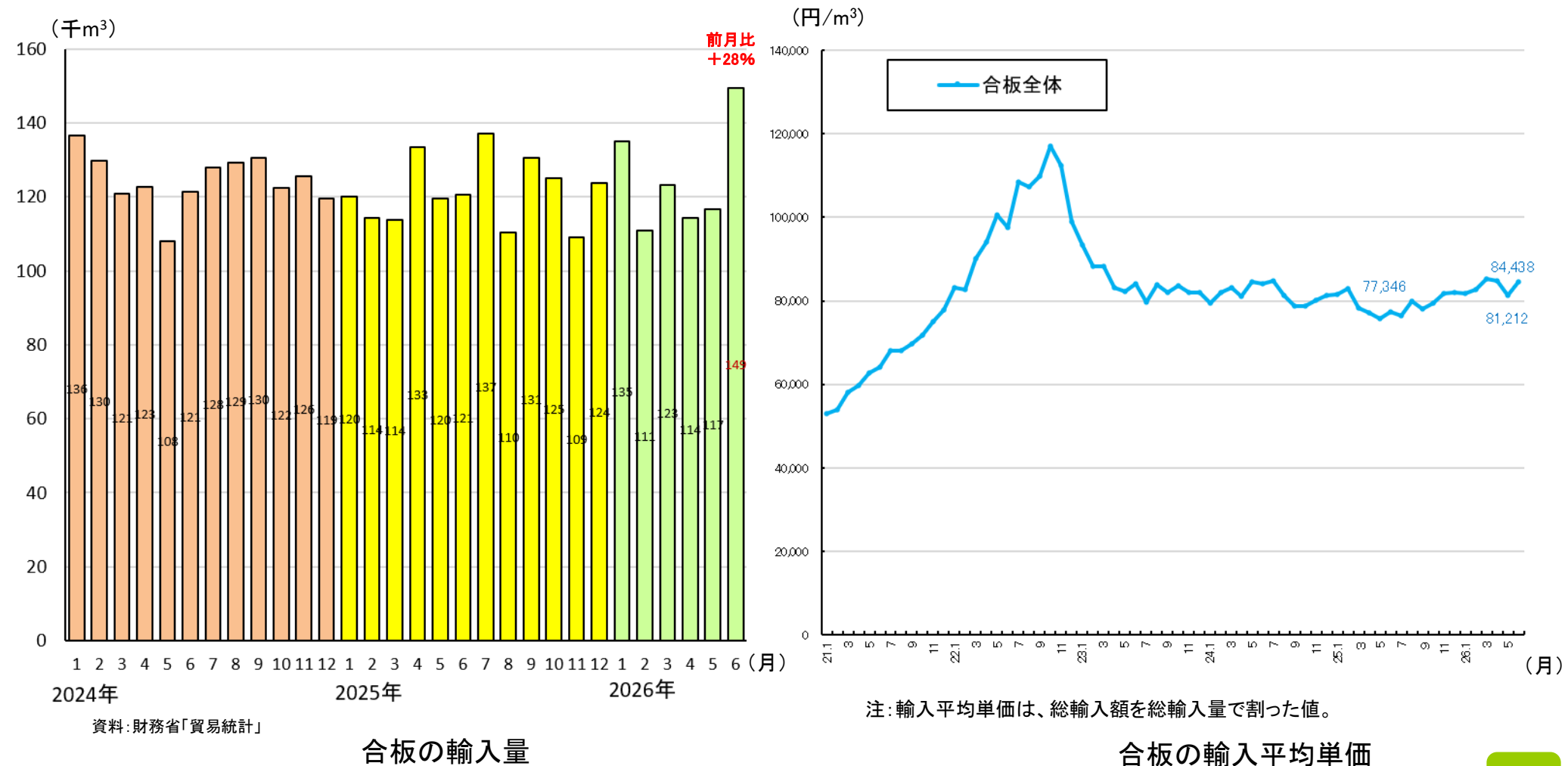


注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

構造用集成材の輸入平均単価

7. 合板の月別輸入量と価格

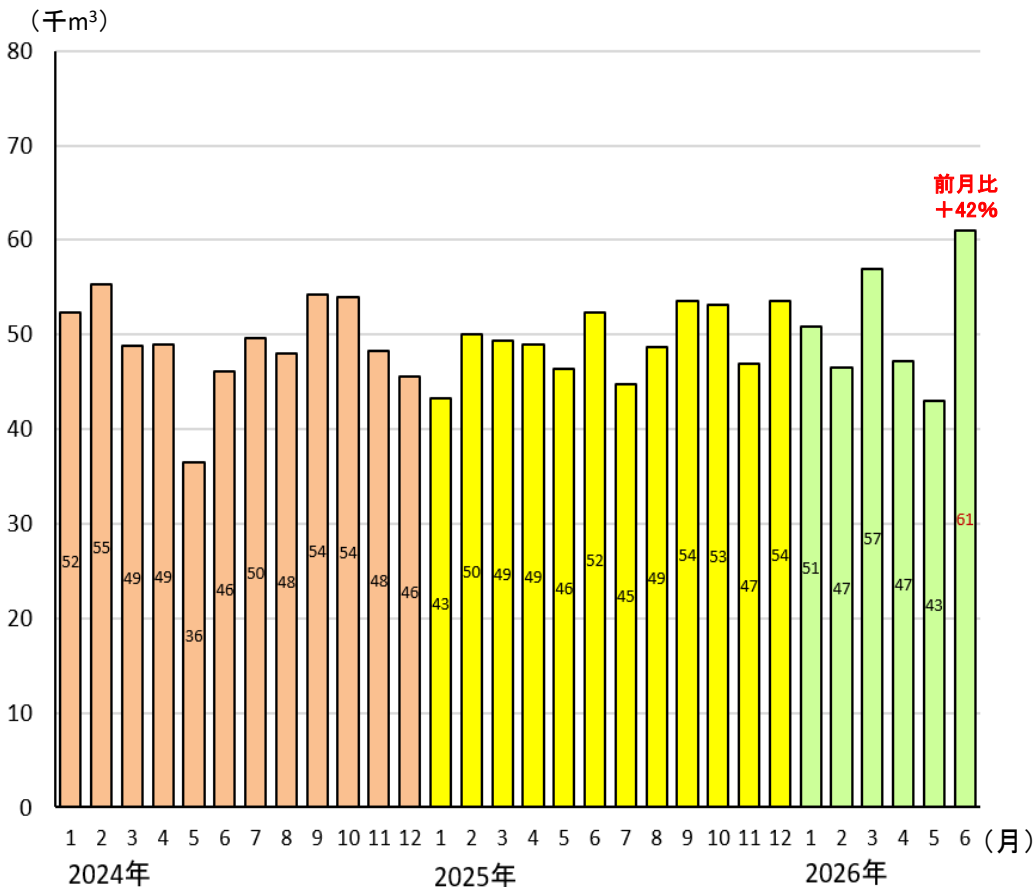
- 2026年6月の合板輸入量は、前月比+28%の14.9万 m^3 (前年同月比+24%)。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比+4%の84,438円/ m^3 (前年同月比+9%)。



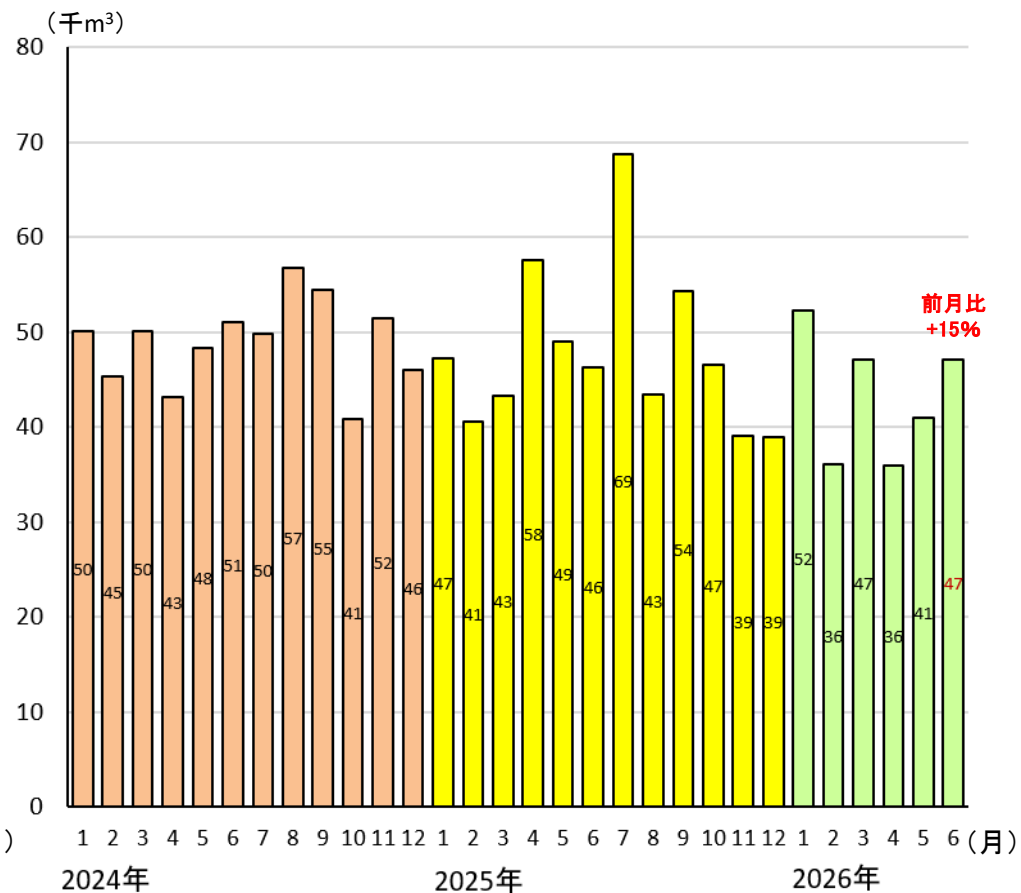
8. 東南アジアからの合板の月別輸入量

○ 2026年6月のインドネシアからの合板輸入量は、前月比+42%の6.1万m³(前年同月比+17%)。

○ 同月のマレーシアからの合板輸入量は、前月比+15%の4.7万m³(前年同月比+2%)。



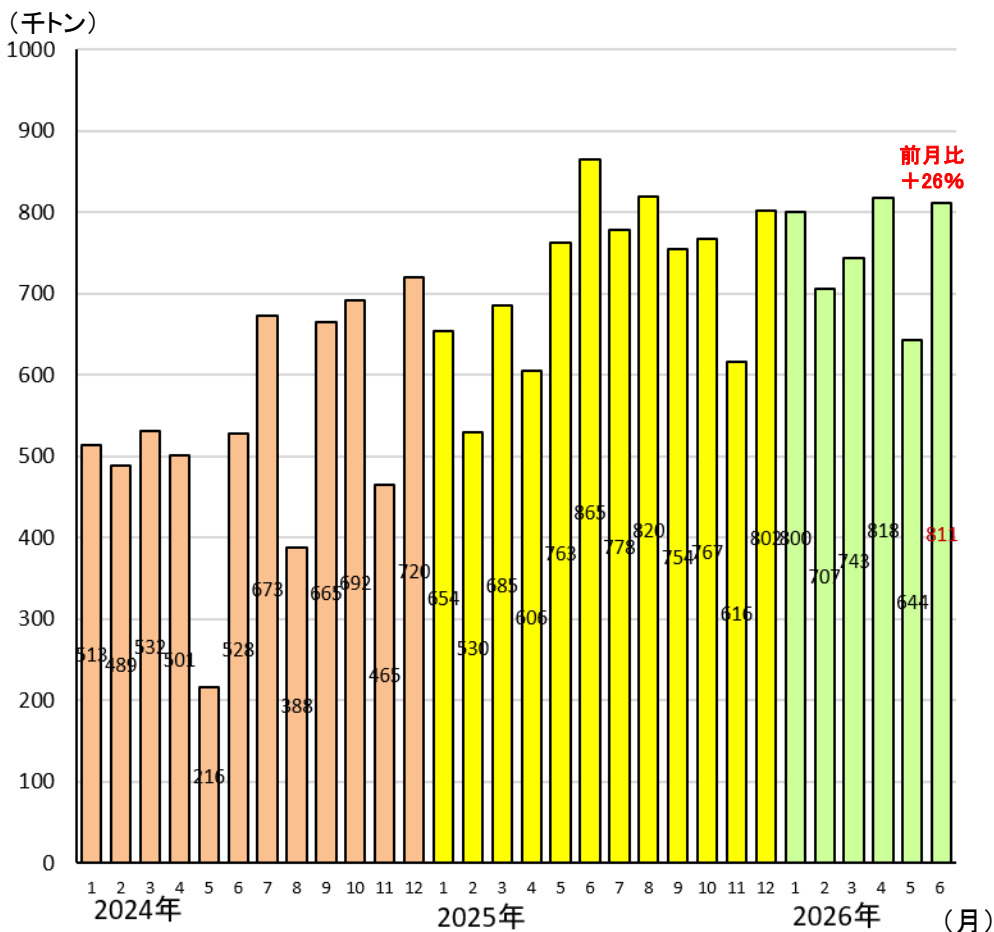
インドネシアからの合板の輸入量



マレーシアからの合板の輸入量

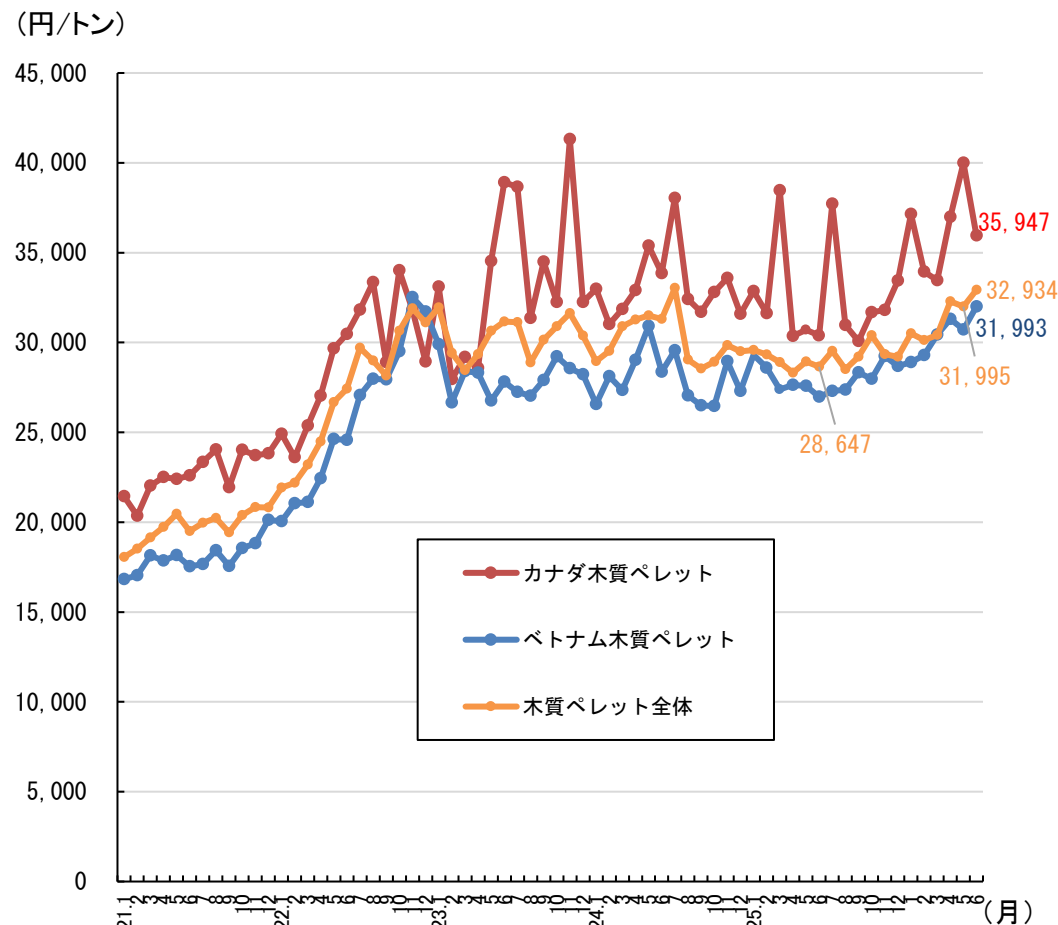
9. 木質ペレットの月別輸入量と価格

- 2026年6月の木質ペレット輸入量は、前月比+26%の81万トン(前年同月比▲6%)。
- 同月の木質ペレット輸入平均単価は、前月比+3%の32,934円/トン(前年同月比+15%)。



資料:財務省「貿易統計」

木質ペレットの輸入量

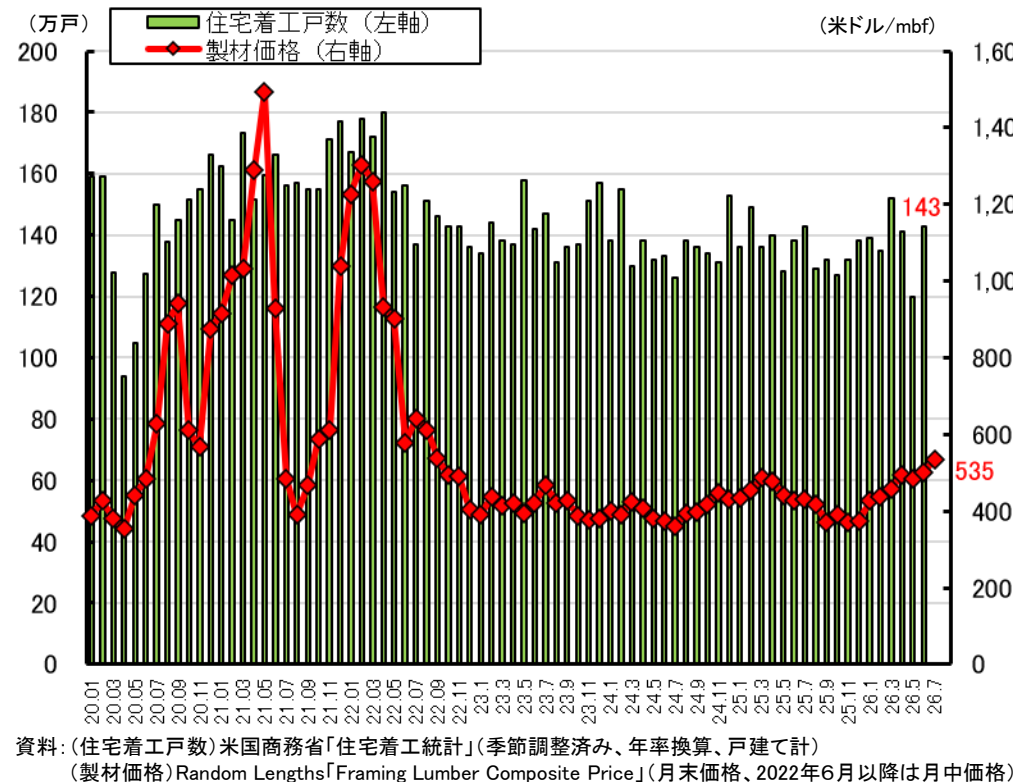


注:輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

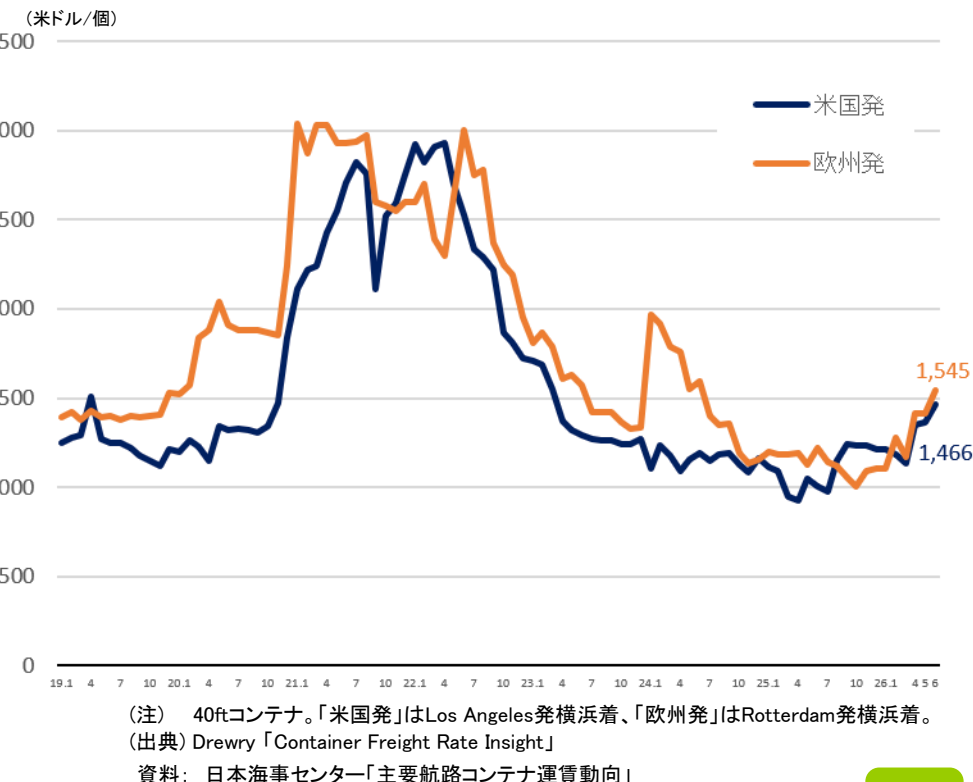
木質ペレットの輸入平均単価

(参考)米国における木材価格の動向等

- **米国の住宅着工戸数**（年率換算、戸建て計）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後回復し、2022年5月からは概ね130～160万戸（年率換算）で推移。**2026年5月には前月比▲15%の120万戸**（年率換算）という低水準を記録したが、**翌6月には前月比+19%の143万戸**（年率換算）まで回復。
- **北米の製材価格**は、2020年夏頃から大幅な変動を繰り返し、2021年6月には1,494米ドル/mbf、2022年6月には1,303米ドル/mbfを記録した後、2023年以降は概ね400米ドル/mbf前後で推移。**2026年からは上がり基調で、7月は535米ドル/mbf（前月比+7%）**。
- **日本向けコンテナ運賃**は、2026年2月末以降の**ホルムズ海峡事実上封鎖**の影響で米国発、欧州発ともに上昇傾向。2021年～2022年頃には、コロナ禍の影響で米国発、欧州発ともに高騰。2024年1月には、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーン混乱の影響で欧州発が一時高騰。



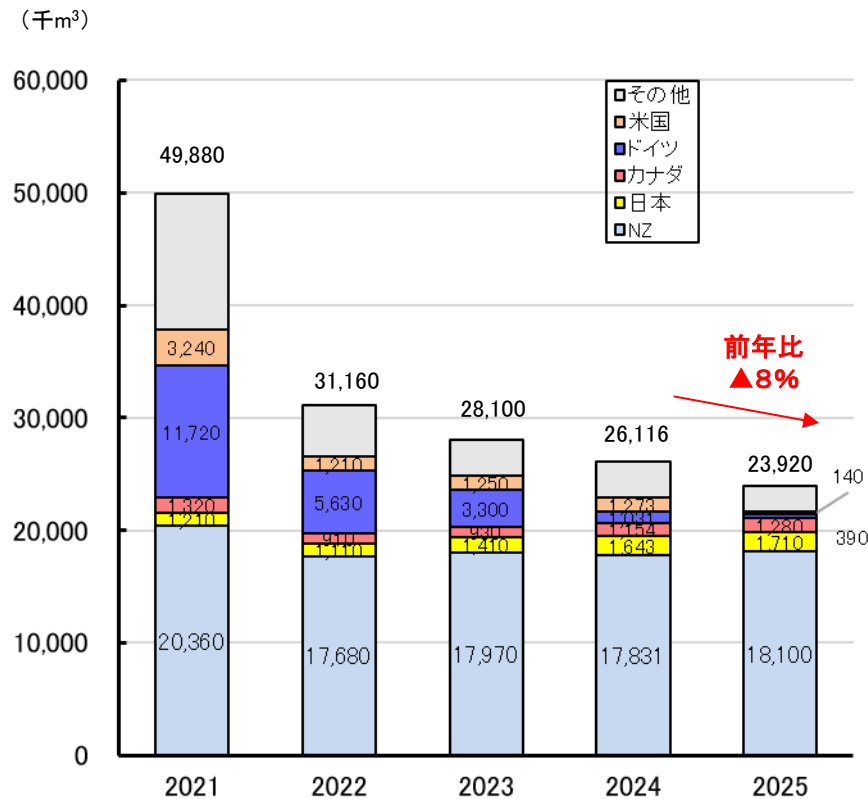
米国における住宅着工戸数と製材価格の推移



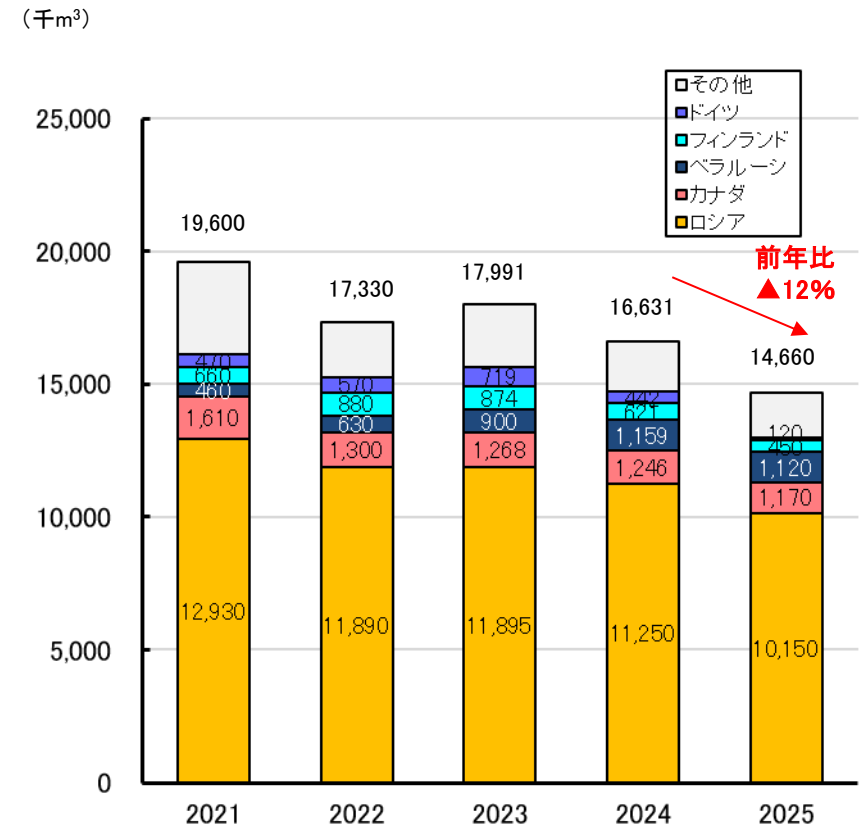
日本向けコンテナ運賃の推移

(参考)中国における木材需要の動向

- 2025年の中国による針葉樹丸太輸入量は、前年比▲8%の2,392万m³。輸入先(量)第1位はニュージーランド、第2位は日本、第3位はカナダ。米国からの輸入は検疫による丸太輸入禁止の影響により大幅に減少。日本からの輸入は前年比+4%。
- 同針葉樹製材輸入量は、前年比▲12%の1,466万m³。輸入先(量)第1位はロシア。
- 不動産市場は2021年以降調整が長引いており、不動産開発投資や販売面積は4年に渡ってマイナス圏で推移。



針葉樹丸太

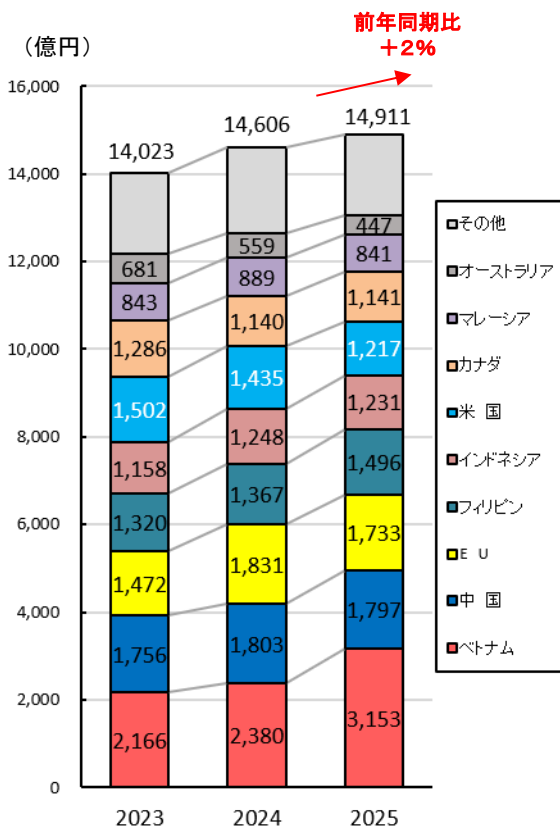


針葉樹製材

中国の木材輸入量(2021年～2025年)

(参考)2025年の木材輸入実績

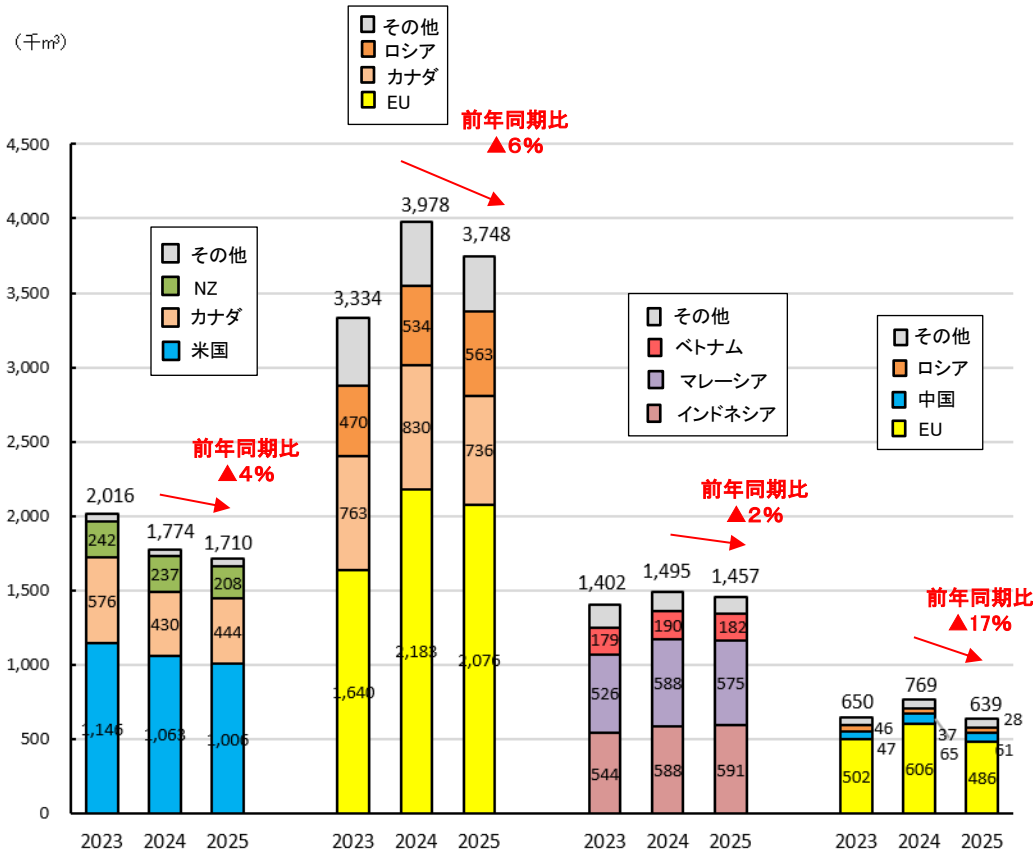
- 2025年の木材輸入額累計は、前年同期比+2%の1兆4,911億円。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比▲4%、製材 同▲6%、合板 同▲2%、集成材 同▲17%、木質ペレット 同+35%。
- なお、2023年同期と比較すると、木材輸入額累計は+6%。品目別輸入量では、丸太▲15%、製材+13%、合板+4%、集成材横ばい、木質ペレットが49%。



資料:財務省「貿易統計」

木材輸入額の推移

(2023～2025年における1月～12月累計)



丸太

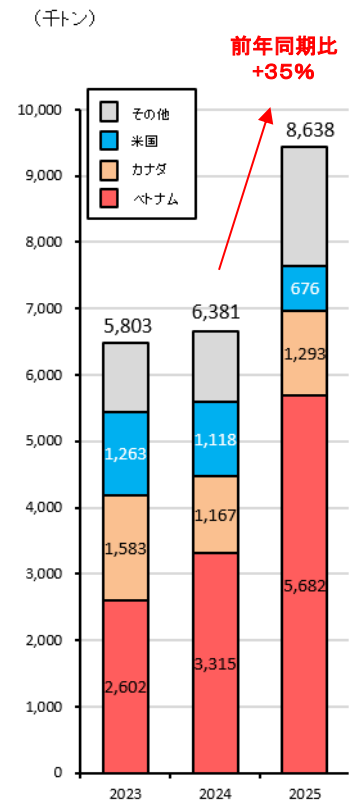
資料:財務省「貿易統計」

製材

合板

集成材

品目別木材輸入量の推移
(2023～2025年における1月～12月累計)



木質ペレット